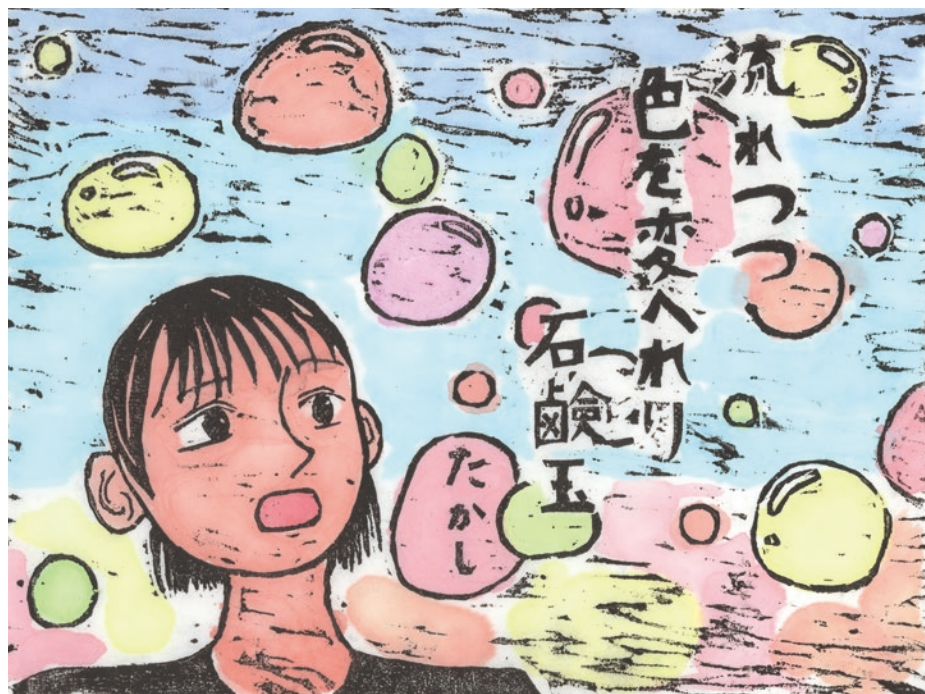


金光学園

# やっなみ

2022.7





# 高校入学式

# 中学入学式





# 中学義務教育修了式

令和4年3月17日(木)、義務教育修了式が行われた。式では栗元涼君が成長した姿で卒業証書を受け取り、丸本芽生さんが中学3年間で振り返って感謝の気持ちを述べた。コロナ禍もあり楽しみにしていた行事の中止や縮小という制約の中でも、本当に逞しく自分達で考え、取り組んできた学年であった。また、後輩に対して先輩としてあるべき姿を身をもって示すことができた。そして修了式後の「あしあと」では、3年間で写真で振り返り、懐かしさとそれぞれの成長を感じる時間となった。その中で詠まれた短歌に大きな拍手もおきた。その後、3年生全員の出し物として、1人ずつ感謝の気持ちを書いたメッセージカードを持った写真のスライドショーで会は締めくくられた。保護者の方々、先生方、そして友達への感謝の思いが、一人一人のキラキラした表情とともに伝わる、とても温かい時間となった。



## 「今」を生きる子ども達に思うこと

佐藤 史成

先日、中学3年生の息子が所属するバスケットボール部の地区大会があり観戦に行かせていただきました。結果は決勝戦で惜しくも敗れ、県大会への出場は叶いませんでした。

この大会で引退となる3年生は試合後、一緒に練習をしてきた2年生と一生懸命に応援してくれた1年生に対して感謝の言葉を伝えていました。その言葉を聞いて涙ぐむ2年生がいて、その涙ぐむ後輩を見て涙する3年生の姿がそこにはありませんでした。部活動を通じて人間的にも、しっかりと成長できているのだと私は実感しました。

今の子ども達は大きな自然災害や感染症など様々な社会的影響を受けている世代だと思っています。しかし、この時代しか知らない子ども達からすると今がスタンダードなのでしょう。今のこの時代に対して、言い訳をすることなく力強く成長してきているのだと思います。

さらに今の子ども達は世間ではZ世代と呼ばれ、学校でSDGsを学び環境問題への取り組み方や多様性に関する考え方に触れ、理解を深めています。

また、物心ついた頃にはすでに先端的なテクノロジーやデジタル技術に触れているためインターネットやテクノロジーとの親和性が高いとも言われています。

Z世代と呼ばれている今の子ども達は、私たち親世代が子どもだった頃と比べて、とても優れた知識や教養を身につけているようにも感じます。

「とびが鷹を生む」この言葉の様に子ども達が成長して親を超えて各分野で活躍してくれると信じて見守りたいと思います。

(金光学園やつなみ保護者会副会長)

## 目次

巻頭言	1
金光学園 中学・高等学校入学式道(32)	2
メタセコイア	14
表紙の言葉	14
学園生の故郷	15
活躍する卒業生	18
高見 尚平	20
やつなみ保護者会のページ	20
会長就任挨拶	22
友愛セールご協力のお願い	23
会報	24
やつなみ保護者会地区会	25
法人決算の概要	26
中学生になって	30
中1入校時レクスタ	32
中3一日旅行	35
高1一日旅行	39
高3一日旅行	43
学童サマースクール	48
高3人權講演	50
芸術鑑賞会	52
ある日のホームルーム	58
A F S 留学生紹介	59
オーブンスクール	60
令和4年度大学入試結果	62
生徒会活動	63
学園だより	74
教室の窓から	74
編集後記	74

# 金光学園 中学・高等学校 入学式

4月8日、入学式が挙行された。中学は午前9時から123名が、高校は午後1時30分から171名が、保護者・教職員の祝福を受けて新たな出発をした。

国歌静聴、校長式辞の後、中学は植田悠太くんが、高校は辰川玉実さんがそれぞれ「願いのことば」を力強く述べた。続いて学校法人理事長の挨拶（田淵美賀雄 常務理事代読）、金光教を代表して中学は教務総長岩崎道與氏、高校は教務総長 岩崎道與氏のご代理 総務部長 山本正三氏の祝辞があり、次に、保護者を代表して中学は元廣なおみ氏、高校は高橋洋末氏の挨拶があった。終わりに、中学は学園歌紹介、高校は学園歌静聴で式の最後が締めくくられた。

## 式辞

校長 金光 道晴



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

こうして、希望に燃え、眼を輝かせている皆さんをお迎えしますと、学園が明るくなり、一層元気が湧いてくるよう、大変嬉しい気持ちになります。私達教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎し、皆さんのここからの成長を、保護者

の方々と協力して、しっかり応援し、支援していきたいと思っています。

また今日の入学式には在校生は出席していませんが、皆さんの先輩になる在校生も、皆さんが入学して一緒に学園生活を過ごしていくことを楽しみにしています。金光教教務総長岩崎道與先生にはご本部御大祭期間のお忙しい中、ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様には本日は誠におめでとうございます。6年間の小学校を終え、今日からお子様は、学園の中学生として、また保護者の皆様には新入生の保護者としてこの金光学園にお子様と同時に入学をいただき、今日からは新入生の保護者としての学園生活のスタートをしていただくわけであります。ここからの6年間をどうぞよろしくお願い申し上げます。後程保護者の皆様には改めてご挨拶をさ

せていただきます。

さて、新型コロナウイルスの感染は皆さんが4年生の冬頃から始まり、もう2年数か月も続いています。この冬に発令されていた蔓延防止等重点措置も3月には解除され、岡山県が独自で定めたりパウンド防止期間も先日の3月31日をもって解除されました。しかし、今も十歳未満の子供たちや、十代や二十代の若い人たちの感染が広がっており、本校でも例外ではありません。

この入学式を挙行するにあたって、色々な心配はなかったわけではありませんが、様々な事に留意して、123名の新入生の皆さんを迎え、保護者の方々にも出席して頂き、このように麗しく入学式を挙行できますことは大変嬉しく有り難いことと思わせていただいています。

ところで、皆さんが先月まで通っていた小学校と学園中学では、色々な違いがあると思います。皆さんの中には、同じ小学校から入学した人もいるかもしれませんが、ほとんどの人は初めて出会う人だと思えます。知った友達がいなかったり、少なかったりすると不安になったり、心配な気持ちになったりするかもしれま

せんが、新しい友達が出来てくることを楽しみにして欲しいと思うのであります。

授業も小学校のように、担任の先生がほとんどの授業を教えるというのではなく、中学では、英語や数学や国語をはじめ、全ての教科はその専門の先生によって授業が行われますし、勉強の中心も難しくなってきますが、頑張ってくださいと思います。また多くの先生との出会いも楽しみにしておいてください。

さらに、中学校では小学校になかった部活動があります。学園では部活動がとても盛んで、多くの文化部や運動部が活発に活動しています。もう既にどの部に入るかを決め、楽しみにしている人もいるかもしれません。また、様々な学校行事も楽しみです。色々なことに早く慣れて、有意義な学園生活を送って欲しいと思います。

これからの学園生活では、全ての事は、自分を大きく成長させるチャンスととらえ、何事にも積極的に向きにチャレンジして欲しいと思うのであります。

例えば、金光学園はグローバル教育を積極的に進めている学校ですが、この2年余りは、このコロナのために多くの取

り組みがストップしています。しかしやがてコロナも収束すれば、外国の人と接したり、交流したりする機会が度々できてくると思います。

3年後の中3の3学期には、全員オーストラリアの西海岸のパスという所で海外研修をすることを計画しています。それに向けて、英語の勉強などもしっかりと取り組んで行って欲しいと思っています。

慣れるまでは少し大変なこともあるかと思いますが、楽しいことやチャレンジできることが一杯ありますから、早く学校に慣れ、新しい友達をつくり、しっかりと勉強や部活動に取り組んで欲しいと思います。そして様々な体験を通して、これからの中学・高校の6年間で大きく成長していただきたいと思います。共に取り組んで行きましょう。

ところで、この入学式の後のホームルームで、皆さんには金光教の教祖様のみ教えが書かれている、このような日めくりを記念としてお渡ししますが、今日の八日の日めくりには、「食物はみな人の命のために天地の神のつくりあたえ給うものぞ」という言葉が書かれています。



この言葉には「何を飲むにも食べるにも有難くいただく心を忘れなよ」という言葉が続くのですが、食前訓といって金光学園では食事の前に唱える言葉でもあります。皆さんも今後クラスで一緒にお弁当を食べる時や、合宿などの食事の時には唱えることとなります。

毎日の生活の中では、あたりまえで何でもないと思っている食事がただのことや水が飲めることにも感謝の気持ちを持ってはいけなさと教えられています。「そして食べ物や飲み物は人の命を育んでいるもので、神様から与えられた天地の恵みであり大切なもの」であることが示されています。

明日の九日の日は、「人の身が大事かわが身が大事か 人もわが身もみな人」という言葉です。「人の身もわが身もみな同じ尊い人間で、かけがえのないもの」であり、そのような精神が元になってきたのが金光学園の合言葉「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」なのであります。この額と同じものは全ての教室に掲げられています。この合言葉は、生徒の皆さんにだけに守ってもらおうというものではありません。

ていくことは大切だと思います。そのキーワードこそは「人をたいせつに、自分をたいせつに 物をたいせつに」の学園の合言葉だと思っています。皆さんもこれからの6年間の学園生活で、この合言葉をどこまでも大切に、実践できるように努めていただきたいと思っています。皆さんは、これから卒業するまでに、何回も耳にするでしょうが、どうぞこれから6年間かけて合言葉の中身をしっかりと身につけていただきたいと思っています。また改めてしっかりと心に刻んで、全てを大切にしよう毎日一生懸命努力していただきたいと思っています。そして、人を大切に出来る人・自分を大切に出来る人・物を大切に出来る人、つまり合言葉を実践できる人になっていただきたいと願っております。終わりにもう一度合言葉を申し上げて式辞といたします。「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」



ん。生徒も保護者の方も私たち教職員も卒業生も全ての金光学園に関係する人、つまり仲間が行動の目標や目当てとするもので、みんなで努力しあっているという願いなのであります。

ところで今、世界では大変悲しく残念なことが起きています。言うまでもなくロシアによるウクライナへの軍事侵攻です。町は破壊され、多くの人の命が奪われています。世界の国や人々の声も、届かず、国連の働きも機能せず、もう1か月半が過ぎました。

先程紹介した金光学園の合言葉と全く反対のことが続いており、いたたまれない気持ちになります。ロシアの軍事侵攻

## 法人理事長挨拶

和泉 正一  
(田淵美賀雄 常務理事代読)



天地の息吹を体いっぱい浴びて、晴れて金光学園高等学校に入学された生徒の皆様には、誠におめでとうございます。それぞれに、希望を抱いてこの日をお迎えになったことでしょう。心からお祝い申し上げます。

保護者の皆様におかれましても、今日までお子様を愛情深く育ててこられ、晴れて入学の日をお迎えになりましたこと、誠にお慶びのことと存じ、心よりお祝い申し上げます。

また、金光教務総長におかれましては、日頃から金光学園に変わりなく温かいご理解とご支援を賜っておりますこと、

が始まったのは2月の下旬のことでしたが、卒業式を前にした一人の高校3年生がいたたまれない気持ちで、次のようなことを言ってきました。

「・・・学校全体でウクライナへの支援金を募ることは出来ませんか。ウクライナでは沢山の人が殺され危機に瀕しています。自分は広島で育って原爆を落とされた国の子として、戦争について、平和について様々な事を学んできました・・・罪のない人を巻き込み、殺すことは絶対あってはいけません。少しでも彼ら何度も学んできました。少しでも彼らのために行動したいです・・・少しでも誰かのために役に立ちたい」というものでした。

その頃は、軍事侵攻が始まったばかりの時でしたが、金光学園では、その生徒の声をきっかけに、直ぐに保護者会、同窓会、私達教職員、そしてその後、生徒達も募金を集めて、浅口市を通して人道危機支援金を日本赤十字社に送りました。

しかしながら、募金など私たちに出来ることは限られており、どういってお役に立てるのか分かりませんが、私達が全ての命を尊ぶために、平和を願い求め続け

誠に有り難いことに存じ、厚く御礼申し上げます。

さて、わが金光学園では、「真に世のお役に立つ人材の育成」を建学の精神として、「学・徳・体一本の全人教育」に取り組んでおります。国際的紛争の激発や新たな感染症の世界的蔓延、そして国内外の経済的軋轢・格差、人権侵害・差別、環境破壊など、これまでの世界秩序の枠組みが大きく変わろうとしている今こそ、人間として尊い行いを為すことができる全人教育が必要とされています。

「人間として尊い行いを為す」ということは、国家や民族を超え、老若男女の区別なく、人類の一員として尊い行いを実践することです。学問に励み、徳を身につけ、体を鍛えて、社会のお役に立つ人間にならせていただくために、「学・徳・体」を育てることに取り組んでいるのです。

社会のお役に立つというとき、最も小さな社会は家族・家庭でありましょう。また最も大きな社会は世界・人類でありましょう。家族あるいは世界・人類のお役に立つ、そのために「学・徳・体」を身につけるのです。

そして、それを身につけるための日々の実践として、「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」という合言葉が、金光学園にはあります。

私たちは、人や物に囲まれて生活しています。人や物の中心に自分がいるということですが、そして中心にいる自分は、周りの人々や、周りにある物を大切にするとともに、周りを大切にしている自分自身をも大切にすることが重要です。そうしていくことによって、おのずから、人間として尊い行いを実践できる人格が形成されていくのです。

これから先、学園生活を日々送っていく皆様に、建学の精神と合言葉をもって、みずから進んで、社会のお役に立つ生き方を求めている、いただきたいと思います。

また、保護者の皆様におかれましては、元の金光教教主・金光鑑太郎様がお詠みになった、「父母も子どもとともに生まれたら育たねばならぬ子も父母も」というお歌にあるごとく、生徒の皆様とお子にお育ちになる心で、お子様方を見守り慈しみお育てになって、親子ともども、学園生活を意義深いものにして行なって

ただければ、誠に有り難いことに存じます。この場にご臨席の生徒の皆さん、保護者の皆様、そして教職員の皆様の、幾久しいご健勝とご活躍を祈念申し上げて、わたくしのお祝いの言葉とさせていただきます。

## 私達の願い

新入生代表 植田 悠太



暖かな日差しに包まれ、春の訪れを知らせてくれる今日、私達、新入生123名は金光学園中学校の入学式を迎えることができました。

本日は、私達のために、このような素晴らしい式をあげていただき、誠にありがとうございます。これから始まる中学校生活は、大きな

期待と希望に満ちています。そして、一人一人が目標に向かい、多くの友達と協力し合い、金光学園の合言葉である「人をたいせつに」を心に留め、これからお世話になる全ての人や物に感謝する心を忘れず、立派な学園生になれるように頑張ります。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、多くの先生方、そして、先輩の皆様、分からないことが多い私達ですが、どうか温かい目で見守り、ご指導してくださいませよう、よろしくお願い致します。

## 中学・保護者代表挨拶

元廣なおみ



大変僣越ではございますが、ただ今ご

紹介に預かりました元廣なおみでございます。新入生123名の保護者を代表いたしました一言挨拶させていただきます。

メタセコイアの新芽が美しいこの良き日に、理事長先生ならびに校長先生、多くの学園関係者の方々のお力添えをいただき、子どもたちの為にこのような盛大な入学式が執り行われたことに深く御礼申し上げます。ありがとうございます。これまでの子どもたちの努力が実を結び、今日この日を迎えることができたことに保護者として安堵感と喜びで感慨もひとしおでございます。校長先生をはじめ、ご来賓の皆様には温かいお言葉を頂戴し重ねて心より感謝申し上げます。

新入生の皆さん、御入学おめでとうございませう。

この間までランドセルを背負っていた皆さんですが、今日からは金光学園の一員となりました。これから始まる6年間の学園生活での先生方や友達との出会い、勉強や部活動などで経験したこと、体験したことは皆さんのこれからの素晴らしい財産となるはずで、これから築いていく人と人との繋がりは、大学、社



会人になっても続いていくものですし、何でも相談できる友人となることを確信しています。そのような友人の存在は、きっと皆さんの将来を豊かにしてくれるはずです。皆さんを信じ、見守っていきます。支援助も惜しまない覚悟を持っています。私自身も26年前金光学園の一員になり





ました。とても緊張し、ドキドキしていたことを今でも良く覚えています。私は、隣の広島県尾道市からバスと電車を使い6年間金光学園に通いました。朝が早く正直とても辛い朝もありました。それでも6年間通い続け皆勤でした。この事は、その後の私の人生でとても自信に



になりました。どんなに辛いことがあっても諦めない忍耐力を身に付けることができました。諦めずやり続ける事。それをしていけばまた新しい景色が見え、自分をまた高めてくれる事を学びました。今でもそれは、私が1番に心掛けています。

もう1つ私が心掛けていることがあります。それは、私が出会い触れ合う全ての人に楽しく幸せな気持ちになって欲しいという事です。社会人になり接客業という仕事に就いた時は、私が出会うお客様に。子どもが産まれてからは、子どもを通して出会う方に。もちろん私の友人や家族に。この気持ちで接していればいつも周りは笑顔で溢れます。それだけでなく豊かに過ごしていけます。

「人をたいせつに」自分をたいせつに物をたいせつに」の精神が6年間の学園生活で自然に身に付いていたのだと思っています。皆さんも人との出会いを大切に、金光学園での素敵な6年間を過ごしていただければと思います。

保護者の皆様、改めて、お子様の御入学おめでとうございます。子どもたちが同級生となったご縁を大切に、ど

うぞこれからの6年間よろしくお願いたします。  
校長先生をはじめ先生方、何に対しても敏感な年頃の子どもたちの教育はご苦労が絶えないと思いますが、どうぞ厳しくも温かいご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。  
最後になりましたが、金光学園の益々のご発展とここにお集まりの皆様のご健勝をお祈りいたしまして、保護者代表の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございます。

## 新入生願いのことば

新入生代表 辰川 玉実



春の訪れを感じる今日の良き日、新入生171名は晴れて金光学園高等学校の入学

式を迎えられることに、心から感謝いたします。

私は3年前に金光学園中学校に入学しました。3年間の中学校生活はとても充実していました。関わってくださった先生方は皆とても優しく、何度も質問に行っても嫌な顔一つせず、納得するまで教えてくださいました。個性的な同級生や先輩・後輩に出会い、刺激をうけました。また、図書室でのたくさんの本との出会いは、私の世界を広げ、豊かなものにしてくれました。中学1年生から2年間で在籍した柔道部では、素敵な先輩や同級生に恵まれ、柔道だけではない、礼儀作法や目上の人との接し方など様々なことを経験することができました。そのどれもが、私にとってかけがえのない大切な思い出です。

そして、今日からは、新たに金光学園の同級生となる39名とともに、高校生活へ向けて引き締め、学業はもちろんのこと、どんどん新しいことにも挑戦したいと思います。

私は将来、日本だけにとどまらず、海外で働きたいと思っています。そのため、勉強だけでなく、日々世界で起こっ

ていることに目を向け、興味を持ち、知っていくように思います。また、海外姉妹校の学生や留学生、EU各国の在日大使の方や外務省で働いている方々との交流会など、金光学園の異文化交流の豊かさを利用して、よりグローバルに活動していきたいと考えています。

これからの3年間で私たちは明るい未来に向かって精一杯がんばっていきます。校長先生をはじめ、諸先生方、そして、両親には、夢に向かう一歩を後押しして下さいますようお願い申し上げます。願いの言葉とさせていただきます。

## 高校・保護者代表挨拶

高橋 洋未



春の訪れを感じるこの佳き日に、令和





を感じた瞬間を大切にしてください。  
そして、何でもいのでチャレンジしたいと思ったこととことん打ち込んでください。そうすることが皆さんにとっての天職を見つける鍵になると信じています。  
話は変わりますが、世界に目を向けてみると、毎日たくさん命が奪われている悲しい現実があります。  
70年以上にわたる平和な日本で生きている私たちには、その現実味を感じられないかもしれません。  
ですが、皆さんと同じように、夢や目標があっても有無を言わず戦いに動員され、個人的には何の恨みもない人たちと戦わなければいけない若者もいるのです。  
そうではない皆さんは本当に幸せです。命の危険を感じることなく過ごせることは当たり前ではなく、とても得難いことであることを切に感じさせられます。  
この平和を維持するために、これからの時代を担う皆さん一人ひとりが平和のあり方、平和を維持する術を真剣に考えていかなければいけません。  
最後になりましたが、先生方におかれ

ましては、子どもたちがどんな困難な状況に陥っても、最後には自信をもって、この金光学園を巣立っていきけますようご指導・ご鞭撻を賜りたいと心よりお願い申し上げます。  
そのために保護者いたしましたしは、金光学園の先生方を信頼し、協力しながら子ども達の成長を見守ってまいります。  
以上、簡単ではございますが、金光学園のさらなるご発展と校長先生、諸先生方、そしてご臨席の皆様のご健勝をお祈りするとともに、子どもたちへのご支援を重ねてお願い致しまして、新入生保護者代表の挨拶とさせていただきます。

4年度金光学園高等学校入学式という新たなスタートにあたり、新入生の保護者を代表いたしました。高いところからではございますが、ご挨拶させていただきます。  
まず、校長先生をはじめとする諸先生方におかれましては、新型コロナウイルス感染症の収束に至らない中、感染防止に十分な配慮の上、入学式を挙行して頂き、心から感謝申し上げます。

そして、新入生とその保護者の皆様、本日は高校入学、おめでとうございます。新入生の皆さんは、新たな気持ちで今日という日を迎えたと思いますが、高校での3年間をどのように過ごしたいと思っているでしょうか。私たち保護者が、1番望んでいることは他でもなく、幸せな人生を送ってほしい、ということに尽きるのですが、幸せな人生とは何でしょうか？定義はいろいろあると思いますが、人生においての進路を決める大切な時期で言いますと、やりがいを感じ、心から楽しめて、続けて良かったと思える、皆さんにとっての天職を見つけることだと思います。  
1秒、という数字があります。この数字は夢を叶えようとするときに、その夢

をあきらめてしまう時間を表していると言われています。つまり「これをやってみよう」とか「この職業につきたい」と思うのですが、1秒という、ほんの瞬間でほとんどの人が自分自身で諦めてしまうのです。自分だけではなく、時には私たち親が子どもたちの可能性を信じてあげることができず、その一歩を踏み出そうとすることを諦めさせてしまっていることもあるかもしれません。高校生である皆さんが「どうせ無理」「私にできるはずがない」と諦めてしまうには、あまりに早すぎます。

失敗は成功のもと、といいますが、大人になった今本当にそうだと思います。チャレンジすれば、時には失敗する事もあります。そこから得られること、学べることはたくさんあります。失敗、成功、その一つ一つに意味があり、それが積み重なって皆さんの人間力となります。失敗したままでとどまらず、次につなげれば失敗も失敗にはなりません。様々な経験の中で心が動いたときに、臆することなく行動に移してみてください。しっかりと心を開放し、やりがいや幸せ





# 道

(32)

金光 道晴

## 極みの館は残った―記念講堂

今年の4月の終わり頃、知人から、突然次のような1本の電話が入りました。「作家で、写真家で、建築家の『稲葉なおと』という東京の方が今倉敷に来られているのですが、『江川三郎八』という有名な建築家が建てられたという金光学園の記念講堂を是非見てみたいと言われているのですが、見せて頂けますか?・・・この方は津山出身のB'z(ビーズ)の稲葉浩志さんのいとこに当たられるそうですよ」との事でした。私は今日なら時間が空いていますので、お出で頂いたらお会い出来そうですので、どうぞ」と返事をいたしました。確か午後3時頃に来校され5時過ぎまで2時間以上も記念講堂だけではなく、小体育館とA校舎もじっくり見学され、度々「わあ素晴らしー!」と大きな声を発しながら写真を撮られていました。夕方からは金光町の大谷に残っている江川三郎八の建てた建物も見たいと言われ、映画「とんび」のロケ地も見て回られたようで、7時頃まで見学されたり、写真を撮られたりして、学校に帰ってこられました。それから1週間ほどして、「津山」という一冊の本にお礼状が添えられて送られてきました。その本は、「津山」の名建築の美を、200点超の写真と解説で紹介したもので、今年4月に発売されたもので、「発売前に重版決定」と書いてあり、ブックカバーには、いとこであるB'zの稲葉浩志さんの次のような言葉が書かれていました。「え、こ何処なん? ページをめくるたびに声漏れしてしまふ。故郷の圧倒的な潜在美を私は知らずにここまでできてしまったのだ」と。そんな事を各学年の保護者会などでも話をさせていたのだっていましたが、5月の終わりになって、今度は「新潮社」から突然に週刊新潮(5/27号と6/2号)が相次いで送られてきました。はじめなぜ送られていたのかもわかりませんでした。ページをめくってみて、稲葉なおとさんが書かれた学園の記念講堂の記事(左ページに掲載)があったのでうなずけました。記念講堂のことは、折に触れてこれまでも生徒や保護者の方に話させていただきましたが、もともと記念講堂は、当時学校のあった金光教本部に隣接して、創立間もない明治37年(1904)に建てられたもので、戦後学校がこの占見野に移転した後の昭和31年(1956)に今の場所に移築されたのであります。その後は講堂として、様々な行事や会合に使われたり、放課後は剣道の道場として使われたこともあり、今年3月までは少林寺拳法の道場として使用してきていましたが、創立120年の年(今から8年前)に、国の登録有形文化財の指定を受け今日に至っており、今年度からは小学生対象の土曜チャレンジ講座や、夏休みの学童サマースクールにも使われています。岡山県には前述した江川三郎八が建てた建

物が沢山残っていますが、特に有名なものは、国の重要文化財になっている真庭市の遷喬小学校や、県の重要文化財になっている高梁市の吹屋小学校ですが、記念講堂はそれよりも早く建てられたものであります。この度、稲葉なおとさんによって、週刊新潮に「極みの館は残った」とのテーマで我が記念講堂が改めて紹介されたことは大変嬉しく有り難い事でしたし、私としては、この度稲葉なおとさんにお会いして、改めて、学園の記念講堂や小体育館の本当の素晴らしさや大切に気付けていただいたような気がしています。そして建物だけではなく、

### 週刊新潮

金光教は、黒住教、天理教とともに江戸末期に開かれた幕末三大宗教のひとつとも言われる。その精神をもつて1894(明治27)年に設立された学校が、神

金光教は、黒住教、天理教とともに江戸末期に開かれた幕末三大宗教のひとつとも言われる。その精神をもつて1894(明治27)年に設立された学校が、神

(PR)

30

### 極みの館は残った

#### 校舎を大切に

金光中学講堂 ●岡山県 1904(明治37)年



稲葉なおと  
大和ハウス工業総合技術研究所

明 治明築の講堂へと案内されたの、この建築が建つた当初の姿を描いた記事もつづけた。そして、美しい、珍しい、繰り返される表現は、まさに今も当てはまるものだった。

**元大工の初代校長**  
佐藤は1896(明治29)年、備後国笠岡郡津島村(現、島根県津島町)に生まれ、15歳で大工を志し弟子入りするが、19歳の時に金光教の教壇に上る。

1905(明治38)年2月、金光教を私立金光中学校と改め、文部大臣の設立認可を受けた正規の認定中学校となった。佐藤は初代校長、新校舎は同年3月に竣工した。

元大工の校長であるから

人は自分や他者の足りない所についてしまいがちなのですが、大切なのはその人や物の持つ良さと素晴らしさに目を向けることであると、改めて気付かせて頂いたようなことでありました。

信者となる。大工職をつづけたながら布衣に携わるものの、22歳で大工を辞め、布教に専念する。

金光中学新築に就いた佐藤は、校舎新築の必要性を説いて回った。1902(明治35)年から03(明治36)年にかけてのことだ。遊教をかねて全国を行脚、重ねた講演の回数は47回に及んだ。翌1904(明治37)年、現在の浅口市に、校舎新築に先駆け、金光中学講堂が完成する。

**指名された元大工の技師**  
設計を任されたのは、江川三郎八、大工棟梁の元で、修業を積み、その後、福島の建築技師を経て岡山県の建築技師となり、両県で数々の実績を築いてきた。1860(元治元年)年生まれは佐藤より4つ歳だ。

1905(明治38)年2月、金光教を私立金光中学校と改め、文部大臣の設立認可を受けた正規の認定中学校となった。佐藤は初代校長、新校舎は同年3月に竣工した。

元大工の校長であるから

かも特別な木組みの四柱戸がしまっていて、その内には押さまが配ってあるかのように思われる。縦横の敷設以外のそのままだと建築も適切で、それは、建設が大切に維持されていた。同じ文庫を読み進むと、なぜ今もこの建築が美しいのか、謎を解き明かす記述があった。

「校舎を大切に、庭園を大切に、掃除や手入れも入念に」という気分に満ちていて、校長もそれを認めておられ、学校への参観者、また校長への訪問者がある、必ず校長から校舎や校舎内の様子について話を聞く。特に便所へ導いて大便所の原を聞き、落書きなどは少しもなく清潔であることと、至りに確認せしめ、「ご自身も得意な様子であった」。

「その言葉に私は感銘を覚えた。つづ、つい笑顔になった。建築だけではなく校舎を誇る気持ちではなく、今に受け継がれているのだ。私を校舎の隅々まで案内してくれたのもまた、現在の校長先生だった。」

稲葉なおと：紀行作家・一般建築士、岡山県津山市の名建築家。『津山 美しい建築の現』が週刊新潮、読者小説『おはなし500』『サクラの川とミライの道』も好評。

提供：大和ハウス工業株式会社

稲葉なおと：紀行作家・一般建築士、岡山県津山市の名建築家。『津山 美しい建築の現』が週刊新潮、読者小説『おはなし500』『サクラの川とミライの道』も好評。

# メタセコイア



## 第68回国際平和ポスターコンテスト

ライオンズクラブ国際協会が主催する「第68回国際平和ポスターコンテスト」に出品した中2草薙涼太くんが優秀賞を、中3木村長閑さんが佳作を受賞しました。

「今回優秀賞を頂けて、率直にとっても嬉しい気持ちです。私が描いたポスターを誰かが見て、一人でも多くの悲しい思いをしている人、差別を受けている人がいなくなるのを願っています。」と語るのは草薙くん。

「この平和ポスターは、世界の国々が一つになり平和になる、という想いをこめて描きました。背景は宇宙のような色合いにしたり、世界の国旗を心の形にしたり、両端を平和の象徴である「鶴」に富を表す金や銀を塗り、豊かさを表現したりして、平和への願いを込めて描きました。争い

がなく、平和な世界になっていって欲しいです。」と語るのは木村さん。  
二人にはこれからも素敵な作品を作ってほしいです。



## 表紙の言葉

中2 佐藤 地央

「流れつつ 色を変へれり 石鹼玉」  
私は、この句を読んで、春になってたくさんの新しいことが始まる時期の心のうきうきしているところや不安に思う気持ちなどが、それぞれ色も形も違う石鹼玉なのだと感じました。石鹼玉はどの角度から見るとかによって色も形も変わるので、いろいろな変化が起こり、その時々にも変化する私たちにぴったりだと思いました。

私は、この版画を彫るときに、石鹼玉に表情をつけるにはどうしたらよいかを考えながら作業しました。小さくても自由に飛び回る石鹼玉や大きくきらきらしてゆつくりうかぶ石鹼玉など、一つ一つに想像を広げました。

春の句なので、きらきらして温かく、やわらかな雰囲気を生み出すようがんばりました。穏やかな気持ちになって、もう一歩踏み出してみようと思えるような作品になるように制作しました。

## ここから通っています 学園生の故郷

### 岡山県津山市

高1の母 岸本 朱美  
津山市は、総人口約10万人の規模で、岡山県の北部に、津山盆地とその周辺から成り立っており、北は鳥取県と隣接しています。古くから美作地域の中心であり、江戸時代には津山城の城下町として栄えました。今でも、津山城下町歴史館や城東重要伝統的建造物群保存地区として旧出雲街道沿いに町家が軒を連ねており、当時の遺構や古い町並みも残っています。

津山城跡の鶴山（かくざん）公園は、高い石垣と2005年に復元された備中櫓が印象的で、人々の憩いの場となっています。また、日本のさくら名所100選にも選ばれており、春には約1000本のソメイヨシノが咲き乱れ、西日本随一の桜の名所として県内外から多く人が花見に訪れます。特に本丸からの眺めは、桜の雲海を見るようです。夜は、ぼんぼりに浮かぶ夜桜の美

しさは幻想的です。桜のイメージが強い鶴山公園ですが、新緑の頃には藤、芝桜、あじさい、秋は紅葉、冬は雪景色など、四季を通じて訪れる人の目を楽しませてくれます。

鉄道遺産として、鉄道ファンのみならず人気なのが、津山まなびの鉄道館です。旧津山扇形機関車庫と転車台があります。「機関車トーマス」のトーマスたちが入っている機関車庫をイメージしていただくとかかりやすいかと思います。施設内には、鉄道の仕組み紹介や、津山の街並みをジオラマで表現し、線路上にはNゲージ模型も走っています。また、津山市の「鉄道の玄関」津山駅の北口広場にはSLが展示されており津山駅を利用する方のお出迎え、お見送りをしてきています。さらに、因美線の津山駅〜智頭駅（鳥取県）間をゆったり走る「みまさかスローライフ列車」としてノスタルジー車両が期間限定で運行されることもあります。因美線沿線は古き良き時代の駅舎が保存されており、レトロな木造駅舎がノスタルジックな気持ちにさせてくれます。ちなみに金光学園への通学は、津山駅〜岡山駅間の「津山線」さらに「山陽本線」を利用します。  
ホルモンうどんが誕生した土地柄とし



て、古くから牛馬の流通拠点でした。肉食が禁止されていた明治以前でも、津山は滋賀県彦根市と並んで全国でもまれな「養生喰い」が行われていたと言われます。聞きなれない「養生喰い」とは、「健康のために食べる」「薬として食べる」ということで、





当時の陸軍がまとめた全国主要産物の中に津山の牛肉が掲載されており、全国的に有名だったようです。ホルモンうどんが有名ですが、そのほかに「干し肉」「そずり肉」も美味しいです。

## 広島県尾道市

中1の父 川原 一展

今年より双子の娘達が、揃って学園にお世話になることとなり、私も卒業以来30数年振りに学園と繋がりができた事をうれしく思うとともに、学生時代を懐かしく思い出しています。このたび、尾道を紹介する

機会をいただき大変感謝しております。

二人の娘たちの故郷、尾道を紹介させていただきます。尾道は瀬戸内海また中四国地方のほぼ中央に位置する、東西南北の十字路という町です。平安時代に開港され、850年という長い歴史を持つ港町として発展してきました。現在では、多くの人が気軽に訪れる小旅行の観光地として、また他の地域から移住される方も増えるなど、人気のある街になっています。

尾道は「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」として日本遺産の認定を受けています。尾道三山と対岸の島に囲まれた尾道は、町の中心を通る「海の川」とも言うべき尾道水道の恵みによって、中世の開港以来、瀬戸内随一の天然の良港として繁栄しました。その結果、尾道三山と尾道水道の間の限られた生活空間に多くの寺社や庭園、住宅が造られ、それらを結ぶ入り組んだ路地・坂道と共に、平安の時代から近代の趣を今に残す箱庭的都市になり、今に至っています。

尾道水道とは、瀬戸内海に面した港町尾道と対岸の向島に挟まれた、幅100〜150m（私の感覚ですが）の狭い水道で、「海の川」になっています。この「海の川」は重要な交通路として多くの人で賑わい、平や路地を散策しながら上がっていくと目の前に突然、寺院の大きな屋根や庭園をもつ住宅が現れたりします。路地や坂道を歩けばこうした石垣、井戸、さらに寺社の石塔や狛犬・燈籠などに出会うことができます。時々振り返ってみれば、坂道から対岸の向島や尾道水道と街並みが一体となった景観を見ることが出来ます。

反対に坂を下ると密集した家々とそれをつなぐ細い路地があります。路地を一步入るとその先には神社や近代的な建物、住宅を改装したお洒落なお店など、尾道の歴史を感じるような様々な時代の文化を感じることが出来ます。我々はずっと住んでいるのであまり気づかないのですが、外から来た方から聞く尾道の魅力の一つが、「古いものと新しいものとの一体感が素晴らしい、それが居心地のよさにつながっている事」と言われます。この複雑に入り組んだ路地と坂道、歴史に育まれた永く残っているものと新しく生まれてきたものの融合が尾道の魅力になっていると感じています。

尾道の歴史は古く、また北前船の時代から造船・海運隆盛の時代に変遷賑わいのある町として発展しました。その後、時代の移り変わりとともに賑わいが消えていききました。それとともに坂や路地のエリアは不



安時代の荘園米の積出し港から北前船の寄港地または海運が物流の中心だった時代まで多くの人・もの・財が集積する港町として発展しました。町の発展とともに多くの寺社が建てられ、その周辺に家々が密集して建ち並ぶ現在に繋がる風景が作られていきました。その風景を一望する場所として、2022年4月には千光寺公園展望台がリニューアルされ人気のスポットになっています。

余談にはなりますが、尾道三山から見下

便さの象徴にもなり、古い空き家も多く、負の遺産として扱われた時代もありました。しかし今現在では、田舎過ぎず都会過ぎず、初めは街なのに何故か懐かしさを感じる、ノスタルジックさとスタイリッシュさの重なった不思議な魅力を持つ町として、再び活気を取り戻しつつあります。また、そこに若者たちが集まり、古きものを生かしながら、自分らしさを加えることで、魅力的な空間を作り出していることに尾道のさらなる明るい未来を感じています。

「何もないのになにかある あなたがあなたに、わたしがわたしに出会う場所 尾道の最大の楽しみ方は迷子になる事」(村上宏治さん)

拙い紹介ではありますが、今の尾道を体験いただくきっかけになれば幸いです。恥ずかしながら、尾道土産No.1人気商品は「まるか食品イカ天瀬戸内れもん味」です！見かけた際にはぜひ手に取ってみてください！……。

娘達も中学生になり、電車通学が始まり朝の早い新生活が始まりました。金光学園で新しく多くの出会いと経験、そして明るい未来に向けて切磋琢磨し、健やかな学生生活を送ることを願ってやみません。中高6年間親子共々よろしくお願ひします。



ろす街並みもかなりの絶景なのですが、対岸の向島から眺める尾道の風景は尾道三山と街の景色が一望でき、山の中腹にはお寺や塔がそびえる絵葉書のような景色です。またそこから眺める尾道の夜景は、オレンジ色の外灯が海に反射され、また格別な風景になっています。時間の許す方は是非一度体験してもらえればと思います。

海側から山を見上げると、山麓約2kmの範囲に25の寺院が並び立っています。坂道

## 無限の可能性

高見会計事務所 公認会計士・税理士

高見 尚平（高53回卒）



す。そして、関西学院大学に入学卒業し、ここからが長かったw。

私は子供のころから、父が公認会計士という資格を持って仕事をしているところをそばで見っていました。仕事は9時から17時までで、あとは自由。なんていい職業だと思っていました。だから自分は公認会計士になるんだろうなと漠然と思っていました。しかし、会計士になるための受験生活が長かった。まあ親にはめっちゃくちゃ苦労をかけた。そして、こんなに難しいとは知らなかったw。公認会計士試験は日本の三大国家資格と呼ばれ合格率が10%前後という狭き門でした。金光学園中学高校の同級生で親友である岡原洋介君が、私より先に同じ三大国家資格である弁護士になり、それが発奮材料になりました！！ 2015年11月によ

うやく、公認会計士試験に合格しました。翌年2月から会計士が集まる4つの大手監査法人の一つであるあずさ監査法人大阪事務所に入所しました。

会計士試験の怖いところはここからです。監査法人で働いて実務経験の後、もう一度試験があるんです。この試験に合格するまではまだ自分の名前では仕事ができない青二才、公認会計士準会員という立場です。その試験の合格率が50%前後。10%の50%ですから、なんと公認会計士試験の合格率は、最終的に5%前後というふざけた試験でした。

さて、公認会計士という仕事をここで少しだけ説明させていただきます。大きな会社は会社の業績を公表する義務があるのですが、大きな会社、例えばトヨタやソニーなどが新聞で業績を公表する前にその業績が正しいかどうか公認会計士に確認（監査）してもらわなければ公表できません。この監査業務は多岐にわたります。地方自治体や学校法人、例えば皆さんが通っている金光学園も監査を受けなければなりません。公認会計士という仕事は、ほんとうに幅広いです。しかも、

皆さんは、今無限の可能性があります。それを生かすも殺すも自分次第です。皆さんには、その可能性をできるだけ高めながら今後の学園生活を駆け抜けていただければと思います。学園内やどこかで皆さんと出会うかもしれません。ぜひ声をかけてください。話しましょ！



卒業したあとも続いていくんです。金光学園に入学してほんとに良かったと思っています。また、会計士・税理士の仕事ではないですが、地域貢献の活動もしております。高校生の将棋大会や金光学園の高校生のデニムコースターの販売にも少しだけ協力させていただきました。

今は物凄く忙しいですが、充実した日々を過ごしています。しかし、これまでに苦しくて暇な日々がありました。皆さんも今後どこかで必ず苦しいときは訪れると思います。そこをどれだけ踏ん張るかだと思っています。今勉強はどうでもいいと思っている人がいるかもしれません。私も学生時代もっと勉強しておけばよかったと思います。個人的な解釈ですが、勉強しなければ自分の将来がどんどん狭められていくように思います。

今読んでいる人のだれかは、いずれ市長になるかもしれませんw。突拍子もないことを言っているように思えるでしょうが、実際に私の同級生で現在市長になっている人がいます。金光学園の卒業生で活躍されている方は多岐にわたります。

公認会計士という資格を持てば税理士の資格も取得することができますので、税理士の業務内容も行います。

ここから現在の私が実際にしている仕事を少しだけ紹介させていただきます。公認会計士の仕事が幅広いことを感じていただければと思います。

現在岡山県倉敷市玉島で、父と一緒に会計事務所です。父と一緒に、あずさ監査法人大阪事務所は退社しましたが、現在もあずさ監査法人岡山オフィスの方で非常勤勤務しております。会社の監査や税務はもちろんのこと、中学校の監査や、今年は岡山市を監査することとなり、先に述べた同級生で弁護士の岡原君と一緒に監査しております。また、監査業務以外にも、顧問先の事業計画書を作成し国から評価を受けて補助金を獲得するという仕事もしております。昨年から1年間で補助金の獲得総額は、1億7千万円を超え、企業1社あたり最高額6千万円を獲得しました。また、金光学園で同じ柔道部だった後輩とマネージャーとも一緒に仕事しております。このように、金光学園を卒業すると様々な繋がりが、



# やつなみ保護者会のページ

## 指導部

部長 蒲生 信博

指導部は、令和4年度9名で活動します。  
主な活動は  
・研修会の参加 ・地区会の運営  
・広域特別補導 ・列車補導  
・街頭補導  
・生徒に関わる問題点の協議・検討  
等です。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症の影響があり、以前のような活動には制限がありますが、少しずつ新しい日常が確立しつつあります。本年度前半は、広域補導・列車補導・街頭補導を先生方のみの参加で実施となっておりますが、年度後半、社会情勢が好転すれば、やつなみ保護者会指導部としても活動していこうと考えております。

## 教養部

部長 佐藤 美紀

7月を中心に行われる地区会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度までは実施できる地区が少なかったようでしたが、本年度は昨年度より、多くの地区で実施されようとしています。生徒と保護者と学校がチーム金光学園となる行事です。開催される地区におかれましては、多くの保護者方の参加をお待ちしております。

指導部は子どもたちの健やかな成長と、子どもたちの夢の実現を願って、学校と連携をとりながら活動してまいりますので、皆様のご支援・ご協力をよりしくお願いいたします。

今年度の教養部は、9名の部員で活動しております。主な活動内容は、年3回

にありがたい事だとかみしめる一年でした。

学校生活以外での色々な制限も、徐々に解除されていき、学園生活も以前同様に行えるようになっていくのではと期待をしつつ、どのような状況でも、「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」の心を忘れず、教養部メンバーで明るく活動していきますので、今年度も皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

## 庶務部

部長 佐野いづみ

今年度庶務部は28名で活動しております。主な活動内容は、ほつま祭での友愛セールの準備と開催です。

友愛セールでは、ほつま祭時に、各ご家庭や協賛企業様からの寄付や庶務部主催の手作り会で作成した手作り品を体育館下等で販売させていただいております。

一昨年度、昨年度は緊急事態宣言など

で手作り会を数えるほどしか開催できませんでした。

その中でも庶務部員をはじめ有志の役員の方、保護者の方、OBの保護者の方までご協力いただき、ご提供頂いた制服をリメイクしたミニチュア制服を着たくまのぬいぐるみや、制服をリメイクしたテイベア、ねこ、バンダなどの手作り品を準備しています。今年是小物入れなども用意できればと思っております。

本年度は、9月10・11日にはほつま祭が開催される予定です。今のところ友愛セールは中止ですが、手作り品の販売は予約販売を予定しております。メールでお知らせさせて頂こうと思っておりますので、よろしければ購入していただければと思います。

また、ほつま祭終了後も来年度に向けて、手づくり会を開催しておりますので、保護者様同士の親睦を深めて頂くこともできますので、よろしかったらお気軽に参加して頂ければと思います。



発行される「やつなみ」保護者ページ作成、研修旅行の企画、研修会の参加です。昨年度同様、新型コロナウイルスの影響により、今年度も活動内容が変更、縮小されています。教養部の大きな活動でもある毎年秋に開催されていた研修旅行も、昨年に引き続き、残念ながら中止となりました。

昨年は学年の大きな行事である「ほつま祭」が中止になり、修学旅行も行き先を変更して実施となりました。校内での子供たちの行事縮小、クラブ活動制限、昼食時の黙食など、コロナ以前から学園生活は大きく変わりました。昨年に引き続き、手洗い、うがい、マスクの徹底、十分な休息と栄養補給で、先生方、生徒、保護者が無事にコロナ禍を乗り切れますよう、コロナの終息を願うばかりです。

行事の中止変更で、子供達の本来の学び、経験が失われてしまった事はとても寂しく残念ですが、制限のある中でも、毎日の登校が許され、オンラインではなく対面での授業が行われ、楽しい学園生活を送らせていただけている事は、本当

# 金光学園やつなみ保護者会 会長就任挨拶



金光学園やつなみ保護者会  
会長 初村 和彦

保護者の皆様、学園関係者の皆様には平素よりやつなみ保護者会活動に、多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また金光学園中学校新1年生、高等学校新1年生の保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

保護者会総会の決議をもって承認いただいた、令和4年度金光学園やつなみ保護者会会長を務めます初村和彦と申します。よろしくお願いたします。

一昨年、昨年と新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、子どもたちの学園生活も活動が中止になるもの、制限されるものがありました。しかし、先生方の創意工夫でウィズコロナに対応した形を変えた活動として再開されるようになり、子どもたちの学園生活が徐々に戻ってきております。

こんな状況の中で、子どもたちはウィズコロナをいち早く受け入れ、我々保護者の想像以上に社会に適応して、たくましく大きく成長していると感じています。コロナ禍の困難な状況でも、一人ひとりが最善を考え、適応する能力を身に付けているのではないのでしょうか。

金光学園は「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」を合言葉に学・徳・体一本の全人教育を柱に掲げ、

勉強にも部活動にも全力で取り組む校風があり、一つに偏らず、多様な経験が得られ、適応力が備わっているのだと思います。コロナ禍だからこそ得られる何かがあると信じていますし、子どもたちが数年、数十年後に、コロナ禍での学園生活を懐かしむことができたらよいと思っております。

世の中ではワクチン接種や感染症対策が進み社会活動がもとに戻り始めてきています。

本年度やつなみ保護者会は、ほつま祭の開催や保護者の皆様が学校と繋がる機会を増やすなど先生方と協議し新しいスタイルでの活動を推し進めて参ります。

子どもたちにとって、人生で一度しかないこの金光学園での学園生活を有意義なものにするために、この一年間精一杯取り組んで参ります。皆様方の一層のご理解とご協力、そして積極的なご参加をお願い申し上げます。

## ほつま祭

# 「友愛セール」ご協力をお願い!

拝啓

晩夏の候、極暑というにふさわしい毎日が続いております。本誌が届く頃は期末試験も終わり、そして子ども達には楽しい夏休みへと続きます。保護者の皆様におかれましては、平素よりやつなみ保護者会へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年のほつま祭9月10日(土)・11日(日)、当保護者会主催の友愛セールを、開催いたします。

本年も「金光ベア」をはじめ、多くの保護者の皆様のお心がこもった手作り作品が多数出品されます。今年の予約販売では、特に地場企業の新たな選りすぐりの人気商品を集め、お値打ち価格でご提供致します。コロナ関連の事情もあり、安全面を鑑みて、事前注文品の販売という形で学園より送られてくるメールやチラシを使ったオンライン注文を考えております。多くのご購入を頂ければ幸いです。

この「友愛セール」で得られました収益金は、学内設備の充実に充てられます。

是非とも友愛セールの趣旨と意義をご理解頂き、保護者の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

敬具





## 令和4年度 やつなみ保護者会 地区会

No.	地区	日時	会場	出席教員
1	岡山以东	コロナの関係で実施せず		成田 小畑 内村 ション
2	倉敷第1	7月9日(土)18:30~20:30	ライフパーク倉敷	城戸 小橋 内田 高田
3	倉敷第2	7月9日(土)18:30~20:30	倉敷健康福祉プラザ	佐藤 山本澄 妹尾 北川
4	倉敷第3	7月2日(土)14:00~16:00	倉敷運動公園研修室	守分 天野 瀬戸 藤井利
5	玉島東	7月3日(日)10:00~12:00	玉島市民交流センター	吉森 宰相裕 石田亜
6	玉島西 黒崎	7月3日(日)10:00~12:00	玉島市民交流センター	小松原 坂口 中村
7	富田 長尾 船穂 真備	コロナの関係で実施せず		久野 服部 佐藤洋
8	竹 八重 占見 占見新田 地頭下	7月9日(土)13:30~15:00	金光学園高校視聴覚教室	土井 中島 有馬
9	大谷 須恵 佐方	7月13日(水)18:30~20:00	金光学園中ホール	友田 水岡
10	鴨 方	7月23日(土)19:00~21:00	浅口市中央公民館	平田 谷野
11	六条院	7月8日(金)19:00~20:30	浅口市中央公民館	吉永 藤井
12	寄 島	7月9日(土)19:00~20:30	ふれあい交流館サンパレア	奥野 籠崎
13	里 庄	7月23日(土)17:00~18:00	里庄町立図書館 視聴覚室	大西 山本幸
14	笠岡東	7月2日(土)19:00~20:30	サンライフ笠岡	松田 宰相タ 西山
15	笠岡西	7月23日(土)19:00~21:00	サンライフ笠岡	井上 平岡
16	笠岡北	7月15日(金)19:00~21:00	北川公民館	松本 亀山 森下
17	井 原	7月23日(土)19:00~21:00	アクティブライフ井原	石井 田中 角南 ベン
18	福山第一・三	7月9日(土)18:30~20:30	福山市生涯学習プラザ	土谷 石田崇 平川
19	福山第二	7月9日(土)19:00~21:00	福山市市民参画センター	山下 長谷川 岡田
20	福山第四A	7月9日(土)18:00~20:00	福山市緑丘公民館	鳥越 山路 園田
21	福山第四B	7月26日(火)19:00~20:30	福山市緑丘公民館	東山 水野 堤
22	福山第五	7月9日(土)19:00~21:00	福山市北部市民センター	戸田 細川 塚原
23	松永・尾道・ 三原以西	7月2日(土)15:00~17:00	福山市西部市民センター	藤原 塚田 久繁
24	止 宿	手紙		日笠 平賀

# 会報

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、保護者会活動は、できる限り少しでも多くの活動を行っていくことになった。

**第5回評議員会** 3月24日(木) 令和3年度最終の評議員会が開催された。これまで、年度をまたいで行われてきたこの会合を、年度内に行うことにした。協議報告事項として、①令和3年度活動報告、②令和3年度会計決算報告、③会則第8条の変更について、④令和4年度三役選考経過報告が行われ、全て拍手で承認された。

**金光教大祭接待奉仕** 4月3・7・10日の3日間に行われた金光教春の天地金乃神大祭に評議員さんが奉仕した。全国からの代表の参拝の方々への接待奉仕で、大変感謝された。

**総会** 4月23日(土)に令和4年度総会

が開催された。1限に授業参観、2限に学級会、11時から各教室で総会をZoomによるオンライン形式で行った。総会では、①各部からの会務報告、②令和3年度会計報告及び監査報告、③会則の変更、④役員改選が議事に挙げられ、③・④についてはこの総会で決定された。この結果、令和4年度の新三役が次の通り選任された。(敬称略)

各部	部長・副部長		新三役		
	教養部	指導部	監事	副会長	会長
庶務部	佐藤美紀	蒲生信博	恵合理枝	宮田佳代	初村和彦
佐野いづみ	巻尾裕子	野田真弓	橋本理美	中桐大作	岡田祥平
寺川あすか		宮本康子		木村佳子	
		野田真弓		小野泰正	
		野田真弓		佐藤史成	
		野田真弓		大目憲正	

**第1回全役員会・評議員会** 5月11日(水) 全役員会では、全役員と評議員の任務内容の確認、年間予定等について説明があった。続く評議員会では、各専門部役員の決定後、各部長・副部長が選任された。(敬称略) その後、4年度の活動方針、予算

案、地区会等について検討し承認された。今年のはつま祭での友愛セールの具体的な取り組みも協議された。

**第2回評議員会** 6月6日(月) 各専門部役員名簿の確認後、年間活動内容について各部別協議を行い、全体で共有した。その後、地区会開催の確認や金光教接待奉仕の分担決定などを行った。今年度の友愛セールは、バザーは行わず予約販売(物品・手作り品)を実施することになった。

### 諸会合

- 6月16日玉島警察署管内子どもを守る母の会総会。野田評議員参加。
- 6月22日岡山県青少年育成県民会議総会。中桐副会長参加。
- 6月23日岡山県高等学校PTA連合会総会・研修会。オンライン。初村会長・金光校長参加。
- 6月28日県小中中学校PTA指導者研修会。オンライン。大目副会長・佐藤副会長・橋本監事参加。
- 7月26日中四国高等学校PTA連合会愛媛大会。初村会長・大目副会長・岡田副会長・小野副会長・佐藤副会長・中桐副会長参加。

# 令和3年度決算の概要

学校法人金光学園

令和3年度の決算が、5月30日に開かれた法人評議員会ならびに理事会で承認されました。  
 学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「事業活動収支計算書」、財産状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4号に定められた規則に基づき作成したものが、以下の「財務三表」です。

## 資金収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

収入の部		支出の部	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
学生生徒等納付金収入	577,434,710	人件費支出	777,015,869
手数料収入	4,683,400	教育研究経費支出	109,998,554
寄付金収入	26,530,892	管理経費支出	57,964,652
補助金収入	518,974,992	借入金等利息支出	2,163,521
付随事業・収益事業収入	322,818	借入金等返済支出	46,400,000
受取利息・配当金収入	667,865	施設関係支出	79,786,735
雑収入	4,457,249	設備関係支出	40,200,601
借入金等収入	0	資産運用支出	41,517,262
前受金収入	60,400,000	その他の支出	39,663,514
その他の収入	119,309,435	資金支出調整勘定	△ 6,752,672
資金収入調整勘定	△ 123,725,532	翌年度繰越支払資金	51,116,105
前年度繰越支払資金	50,018,312		
<b>収入の部合計</b>	<b>1,239,074,141</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>1,239,074,141</b>

## 事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目		決 算 額	科 目		決 算 額
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	577,434,710	教育活動支出の部	人件費	811,122,372
	手数料	4,683,400		教育研究経費	191,993,870
	寄付金	26,530,892		管理経費	60,636,139
	經常費等補助金	501,124,992		徴収不能額等	1,365,880
	付随事業収入	322,818			
	雑収入	4,457,249			
	教育活動収入計	1,114,554,061		教育活動支出計	1,065,118,261
	<b>教育活動収支差額</b>	<b>49,435,800</b>			
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	667,865	教育活動外支出の部	借入金等利息	2,163,521
	教育活動外収入計	667,865		教育活動外支出計	2,163,521
	教育活動外収支差額	△ 1,495,656			
	<b>經常収支差額</b>	<b>47,940,144</b>			
特別収入の部	その他の特別収入	18,046,798	特別支出の部	資産処分差額	1,139,419
	特別収入計	18,046,798		特別支出計	1,139,419
	<b>特別収支差額</b>	<b>16,907,379</b>			
〔予 備 費〕					
	基本金組入前当年度収支差額			64,847,523	
	基本金組入額合計			△ 160,768,064	
	<b>当年度収支差額</b>			△ 95,920,541	
	前年度繰越収支差額			△ 1,854,060,036	
	<b>翌年度繰越収支差額</b>			△ 1,949,980,577	
(参考)					
	事業活動収入計			1,133,268,724	
	事業活動支出計			1,068,421,201	

## 貸借対照表

令和4年3月31日

資産の部		負債の部	
科 目	本年度末	科 目	本年度末
固定資産	2,325,300,271	固定負債	492,527,203
有形固定資産	2,160,017,168	流動負債	161,505,290
特定資産	165,000,000	<b>負債の部合計</b>	<b>654,032,493</b>
その他の固定資産	283,103	<b>純資産の部</b>	
流動資産	155,129,670	科 目	本年度末
<b>資産の部合計</b>	<b>2,480,429,941</b>	基本金	3,776,378,025
		繰越収支差額	△ 1,949,980,577
		<b>純資産の部合計</b>	<b>1,826,397,448</b>
		<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,480,429,941</b>

## 令和3年度 収支決算

金光学園やつなみ保護者会

### I. 一般会計

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	決算額	差 異
1 会 費	4,296,000	4,731,680	△ 435,680
2 繰越金	1,531,309	1,531,309	0
3 寄付金	20,000	20,000	0
4 雑収入	30,000	28,665	1,335
合 計	5,877,309	6,311,654	△ 434,345

### 支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 指導部費	455,000	245,341	209,659	
A 地区会費	300,000	42,341	257,659	23地区
B 生活指導費	5,000	3,000	2,000	広域補導
C 通信連絡費	150,000	200,000	△ 50,000	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,045,000	2,190,000	855,000	
A 機関誌費	2,700,000	2,145,000	555,000	やつなみ259号～261号
B 教養費	345,000	45,000	300,000	総会講演・研修旅行、他
(1) 研修費	300,000	0	300,000	教養シリーズ
(2) 教養費	0	0	0	
(3) 講習会費	45,000	45,000	0	やつなみサークル補助
3 庶務部費	1,680,000	723,052	956,948	
A 負担金	400,000	313,590	86,410	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	0	0	0	学園名簿(R1年度から発刊しない)
C 慶弔費	500,000	269,000	231,000	卒業式、弔慰、饗別
D 会議費	100,000	50,913	49,087	総会、評議員会、役員会、食堂試食
E 旅費	100,000	5,470	94,530	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	200,000	69,826	130,174	諸消耗品代等
G 特別委員会費	350,000	0	350,000	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	30,000	14,253	15,747	標語パネル協賛金、振込手数料他
4 予備費	697,309	0	697,309	
合 計	5,877,309	3,158,393	2,718,916	

### 1. 一般会計収支

収入総額	6,311,654
支出総額	3,158,393
差引剰余金	3,153,261

◎剰余金処分 一般会計剰余金3,153,261円は、次年度一般会計に繰り越す。



支出の部

科 目	R4予算額	R3予算額	R3決算額	摘 要
1 指導部費	505,000	455,000	245,341	
A 地区会費	300,000	300,000	42,341	24地区
B 生活指導費	5,000	5,000	3,000	広域補導
C 通信連絡費	200,000	150,000	200,000	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,045,000	3,045,000	2,190,000	
A 機関誌費	2,700,000	2,700,000	2,145,000	やつなみ262号～264号
B 教養費	345,000	345,000	45,000	
(1) 研修費	300,000	300,000	0	総会講演、研修旅行、他
(2) 教養費	0	0	0	
(3) 講習会費	45,000	45,000	45,000	やつなみサークル補助
3 庶務部費	1,680,000	1,680,000	723,052	
A 負担金	400,000	400,000	313,590	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	0	0	0	学園名簿 (R1年度から発刊しない)
C 慶弔費	500,000	500,000	269,000	卒業式、弔慰、饗別
D 会議費	100,000	100,000	50,913	総会、評議員会、役員会
E 旅費	100,000	100,000	5,470	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	200,000	200,000	69,826	諸消耗品代等
G 特別委員会費	350,000	350,000	0	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	30,000	30,000	14,253	標語パネル協賛金、振込手数料他
4 予備費	1,981,261	697,309	0	
合 計	7,211,261	5,877,309	3,158,393	

Ⅱ. 特別会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R4予算額	R3予算額	R3決算額	摘 要
1 特別会費	7,874,400	7,874,400	7,292,320	月額 @680
2 繰越金	5,812,160	5,801,969	5,801,969	
3 雑収入	10,000	0	10,099	マスキングテープ売り上げ、生徒用コピー機利用料戻入
合 計	13,696,560	13,676,369	13,104,388	

支出の部

科 目	R4予算額	R3予算額	R3決算額	摘 要
1 教育後援費	13,696,560	10,405,709	7,292,228	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助、事業積立金会計への積立等

《教育後援費の内訳》

①日本スポーツ振興センター共済掛金	1,200,000円
②高P連賠償責任補償制度加入掛金	400,000円
③私学ボランティア基金会費	20,000円
④私学ボランティア基金特別会費	10,000円
⑤高校図書室コインコピー機リース料	110,000円
⑥メールメイトシステム利用料 (R4年度分)	100,000円
⑦生徒会派遣費補助	6,000,000円
⑧事業積立金会計へ	1,000,000円
⑨予備費	4,856,560円
	13,686,560円

Ⅲ. 事業積立会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R4予算額	R3予算額	R3決算額	摘 要
1 積立金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	特別会計より
2 繰越金	5,000,000	4,000,000	4,000,000	
合 計	6,000,000	5,000,000	5,000,000	

Ⅱ. 特別会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 特別会費	7,874,400	7,292,320	582,080	月額 @680
2 繰越金	5,801,969	5,801,969	0	
3 雑収入	0	10,099	△ 10,099	マスキングテープ売り上げ、生徒用コピー機利用料戻入
合 計	13,676,369	13,104,388	571,981	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 教育後援費	10,405,709	7,292,228	3,113,481	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助等

《教育後援費の内訳》

①日本スポーツ振興センター共済掛金	1,131,720円
②高P連賠償責任補償制度加入掛金	387,200円
③私学ボランティア基金会費	10,770円
④私学ボランティア基金特別会費	10,000円
⑤高校図書室コインコピー機リース料	104,976円
⑥メールメイトシステム利用料 (R4年度分)	99,000円
⑦生徒会派遣費補助	4,115,822円
⑧5/7箱泊取消料 (高校バレー部中国大会)	42,240円
⑨42台充電保管庫	390,500円
⑩特別会計から事業積立金会計へ	1,000,000円
	7,292,228円

2. 特別会計収支

収入総額	13,104,388円
支出総額	7,292,228円
差引剰余金	5,812,160円

◎剰余金処分 特別会計剰余金5,812,160円は、次年度特別会計に繰り越す。

Ⅲ. 事業積立会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 積立金	1,000,000	1,000,000	0	教育後援費より
2 繰越金	4,000,000	4,000,000	0	
合 計	5,000,000	5,000,000	0	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 事業費	0	0	0	

3. 事業積立会計収支

収入総額	5,000,000円
支出総額	0円
差引剰余金	5,000,000円

◎剰余金処分 事業積立金剰余金5,000,000円は、次年度事業積立金会計に繰り越す。

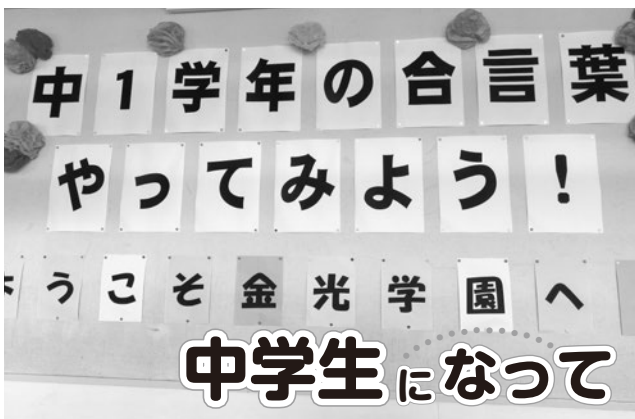
令和4年度 予算

金光学園やつなみ保護者会

I. 一般会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R4予算額	R3予算額	R3決算額	摘 要
1 会 費	4,008,000	4,296,000	4,731,680	月額 P@320、 T@400
2 繰越金	3,153,261	1,531,309	1,531,309	
3 寄付金	20,000	20,000	20,000	大祭直会
4 雑収入	30,000	30,000	28,665	預金利息、やつなみ増刷補助、笠岡補導センター補助、他
合 計	7,211,261	5,877,309	6,311,654	



1組 前山 力海

僕の小学校生活は一言で言うと「継続は力なり」です。

僕はマラソン大会で1位になれず、グラウンドのど真ん中で一人悔しく泣きまわした。そんな僕に、友達は何も言わずに声をかけてくれた。

を掛けてくれました。

その次の日から、毎朝ランニングをしました。次の年には1位となり、自己新記録を達成しました。嬉しい気持ちと自分自身に勝った気持ち、とても自信に繋がりました。

また、僕はバスケットボールを2年生からしています。基礎の継続の大切さ。6年生ではキャプテンとして、仲間とのチームプレイの大切さを学び、試合の中では、悔しかった気持ちをバネに継続して練習が出来たこと。そして継続することでチームの仲間と喜びを学びました。

僕は小学校生活で「悔しい時こそ頑張っている自分になれる」と思いました。継続すれば全ては自分の力に繋がるからです。しんどくて涙を流した日は僕にはたくさんあります。だけど努力の継続は自分の力になるはずなんです。

僕は、中学校生活でも継続する力を、今まで以上にやり切ることが今の自分の気持ちです。僕は自分が行きたかった中学校に入学することができました。今以上に、自分を大切に。人を大切に。物にたいせつに。そして継続する力を続けていきます。

今の僕があるのは僕の周りにいる友達や、先生や保護者の方やバスケの監督、コーチのおかげです。

僕の「中学生になって」は、まだまだ継続する力を発揮することです。

2組 小村湖七望

私は中学生になって頑張りたいことが2つあります。

1つ目は部活動です。入りたい部はコーラス部です。理由は、私は昔から歌を歌うことが大好きで金光の少年少女合唱団ひまわりという所に、小学校6年間所属していました。金光音楽祭で金光学園の歌を聞く機会があり、合唱を聞きました。その歌声はとてもキレイで感動しました。私もあの人のように上手に歌い、スプリングコンサートで舞台上に立ちたいと思います。

2つ目は勉強です。7・8月の体験授業に参加した時、先生の教え方がとても分かりやすかったので、「ここなら学力も上がる」と思ったのがきっかけです。

得意な社会・理科でも小学校での全てのテストで百点をとることができなかった。なので授業をしっかり聞き、安定して高

い点数をとれるようにしたいです。

苦手な数学・国語の読み取りは、授業や塾でもちろん、空いている時間も頑張って勉強して得意な教科にしたいです。つまり、得意な教科はさらに努力してもつと得意に。苦手な教科は努力し得意科目へつなげていきたいです。

最後に頑張りたいことは少し異なりますが、仲の良い信頼できる友達をたくさん作りたと思っています。金光学園生はさまざまな地域から通学しています。地元の中学に通っていたら出会うことができなかった仲間との出会いを大切に、すてきな友達をつくり、楽しい学園生活を送りたいと思っています。

3組 生藤 紗知

私は、4月8日に金光学園の一員となりました。私はこの日を楽しみにしていました。それは、小学校とは違い、中学校では部活があったり、教科によって先生が変わったり、さまざまな新しいことがあるからだ。

私は中学校で頑張りたいことが3つある。1つ目は、自分から積極的に行動することである。私は昔から恥ずかしがり屋で、自ら行動することが苦手であった。

だが、中学校に進学することを機に、いろいろなことを自分から進んで行動していくことと思う。

2つ目は、勉強をしっかりとすることだ。小学校とは違い、宿題の量が多くなる。だから、しっかりと自分で時間を決めて、計画的にしていきたい。

3つ目は、「人をたいせつに」「自分をたいせつに」「物をたいせつに」という金光学園の合言葉を心に過すことだ。積極的に努力して実施し、心にしっかりとしみこませていきたい。

この三つのことを私の抱負として、中学校生活の三年間を有意義なものにしていきたいと思う。

4組 岡田 恵

僕が今年頑張りたいことは主に3つあります。

1つ目は勉強です。理由は、中学生になると数学や英語などの新しいことも増えて、難しくなっていくからです。なので小学生の時よりも予習・復習をしっかりと行って中学校の内容が理解できるようにしていきたいです。

2つ目は部活です。理由は中学生にな

ると部活があるからです。金光学園では、部活が盛んに行われています。また、自分は入学する前にオーブンスクールで部活の体験に行つて、みんな楽しくしていたので、自分もその一員になって楽しく部活をしていきたいです。

3つ目は行事です。金光学園では、ほつまつ祭や体育会、球技大会などのたくさんの行事があります。そのようなたくさん行事に進んで参加し、みんなと一緒に楽しむように工夫してクラス全体で「楽しい会だったなあ」と思えて、たくさん思い出が作れる行事にしていきたいです。そしてクラス全員の思い出に残る行事にすることを目標にして行事に取り組んでいきたいです。

このような今年の抱負を達成するために、「進んで行動する力」や「仲間と協力して一つの事をやり切る力」を大切にしていきたいです。また、この一年間でたくさん成長のキッカケになる出来事があると思うので、そのキッカケを逃さず、少しずつ成長していきたいです。そして1年間終わった後、振り返って「楽しかったな」や「たくさん成長できたな」と思えるような1年間にしていきたいです。



# 中1 入校時レクスタ

4月15日(金)・16日(土)、入校時レクスタ(レクリエーション&スタディ)を実施しました。学習指導、PC指導、集合訓練、学年レクリエーションなどを通じて、親睦を深め、集団行動・生活の規律を学びました。

## 1組 圓福寺諒汰

レクスタでは、「参拝作法指導」「Gakuen Study Part1&2」「集合訓練・学年レクリエーション」をやりましたが、その中の「Gakuen Study」と「学年レクリエーション」から学んだことがありました。

1つ目は、「学ぶことが楽しい」ということです。今回初めて感じたということではありませんが、再認識させられました。多くは会話をしている時に、「すぐ、なんで？」と、理由を聞いてしまうと家族から言われたのですが、確かにたまに気づくことがあります。そこで気づいたのですが、「なぜ？」と理由を探究することは、勉強においてとても武器になるということです。

答えには必ず理由があります。答えがあるものにもないものにも、みな等しく理由があります。そしてその理由を探究することは、勉強において便利になるということだと思います。そして理由を探究することは一つの好奇心です。その好奇心が楽しいと思えるのとともに勉強に生かせると思っています。

2つ目は団体の協力の大切さです。大縄では全員の協力が問われ、ジェスチャーゲームでは一人一人が他の人に答えを伝える個人の力と、それを次に伝える協調性が問われました。団体では個人だけでなく、全員の力を試されます。大縄の縄を回す人もお互いの息を合わせる必要があります、飛ぶ人たちもタイミングを合わせる必要がいけないため、お互いに協力する強いよりも5人で強い方が強いように、大縄でも全員で協力しようと思いました。この2つがすぐに思いついたわけではありませんでしたが、日常では常に学べることが周りに潜んでいるので、これからも学ぶことを忘れないように生きようと思いました。



## 2組 滝澤 歩真

ほかがこのレクリエーション&スタディの中で楽しかったことは2つあります。1つ目は、金曜日に行った五教科の学習です。理由は、それぞれの先生方がおもしろい問題をクイズ形式に出して下さったり、プリントを解いた後、丁寧に分かりやすい解説をして下さったからです。いつもは面倒くさいと思っていた勉強が

分かりやすく、とても楽しかったです。

2つ目は、土曜日に行ったレクリエーションです。最初にした長縄では、十人で大きな縄を飛びました。なかなか成功できなかったけれど、みんなで飛べたときにはものすごい達成感がありました。次はジェスチャーゲームで、あるお題を一番最後の人まで伝えるゲームをしました。

た。このゲームはジェスチャーだけで伝えなければならぬので、とても難しかったです。途中でだんだんジェスチャーが変わっていつたりしておもしろかったです。最後は1万ポイントをかけて白熱したバトルになり、見ていて楽しかったです。多くはこのレクスタで、仲の良い友達がたくさんできました。その友達とレクスタを楽しんだら、2倍以上楽しかったです。同じ小学校から来た友達は一人しかいなかったもので、楽しい友達ができてとてもよかったです。これからは大変なことがたくさんあるかもしれませんが、しかし、その友達と一緒に乗り越えていきたいです。

## 3組 原田 可南

私がレクリエーションで学んだことは、2つあります。

1つ目は、勉強をして学んだことが、全て日常生活に役立っていることです。私は勉強が日常生活で活かされているのだと感じることがなく、ただただ成績を上げるために勉強に励んでいました。しかし、先生方がおっしゃられた、

「国語、数学、理科、社会、英語。どの分

野の学習も、全て生活と繋がっている」という言葉を思い出し、それぞれの学習と身の回りにある物や生活様式を繋げてみると、今まで習ったこと、学習したことが活かされていることに気が付きました。いろいろなものに学習を繋げていると、「この学習はこんなことに繋がっていて、こんなことに生かされていたのか。」と思い、繋げてみるのが楽しくなってきました。学んだことを生活に活かす、自分を高めていくことが勉強の楽しさなのだと思いました。この気持ち忘れず、これからも勉強に励み、自分の生活をより豊かにしていきたいです。

2つ目は、団結することの大切さです。長縄の時、私は「まだ出会って一週間ほどしか経っていないし、優勝は無理だろうな。」と思っていた。しかし、皆は声をかけ合い、ミスしてもフォローしてくれました。その時、私は

「出会ったばかりでも、長くいても、心を1つにしようとしなければ、できない。」と気づきました。私は、このクラスの皆からとても大切なことを学びました。この1年3組だけでなく、6年間ともに過



「ごす仲間にもう一度「よろしくね」と言いたいです。どんなに大変なことだったとしても、きつと、この3人の仲間となら乗り越えられる。私も仲間の一人として、これからも頑張っていきたいと思えます。」



#### 4組 小野さくら

私はレクスタを通して学んだことが2つあります。  
1つ目は、学ぶ楽しさを学びました。授業では先生方が優しくおもしろく問題を出してくれたり、分かりやすく解説してくれて、とっても楽しく、学びのある充実した1日でした。これから毎日6時間授業があるので、しっかり勉強し、学びのある充実した毎日過ごせるようにしたいです。

2つ目は、協力することの大切さを学びました。レクスタ2日目では、長縄やジェスチャーゲーム、並ぶときの練習をしました。ジェスチャーゲームでは、難しいお題でもみんなで協力して優勝することができました。並ぶ時の練習では、私は、班長になり、みんながちゃんとしているかの確認や「休め」「座れ」などの声かけをしました。長縄では、学年の中ではあまり飛べなかったけど、声かけや、縄を回す人を決めたりすることで、男女とも絆が深まり、レクスタ2日目は、みんなと協力することの大切さを学びました。

これらを通して、レクスタ2日間は、本当に楽しく、充実し、学びの多い2日



間だと思いました。そのおかげで私は、みんなとの関わりが増え、他クラスの友達がたくさんできてうれししいし、これからの学園生活がとても楽しみです。この学ぶ楽しさと協力することの大切さを学んだ上で、この経験を次に生かせるように、頑張りたいです。

### 中3 一日旅行

4月28日(木)に中3は、一日旅行に出かけました。クラスごとに行き先を話し合って決め、1・2組は姫路セントラルパークへ、3・4組は四国水族館とレオマワールドに行きました。新しいクラスメイトと親睦を深めたり、団体行動の大切さや楽しさを感じたりと、良い思い出をたくさん作ることができました。

#### 一日旅行で深めた絆

##### 1組 藤井 千夏

私は、一日旅行を終えて3年1組として新しいスタートを切れたと思った。もちろん姫路セントラルパークに行き体験したことは、かけがえない思い出になったが、自分たちで行き先や予定を計画したことも、とても素敵な思い出になった。

私達は中学1年の時からずっとコロナの影響で、思い出をたくさん作れる行事などがほとんどなくなったり、規模を縮小するなど制限がかけられたりした。だから

こそ、この一日旅行は計画する時から楽しもうと思ったのだ。まず、みんなの一日旅行提案書を聞いて、すごく気持ち盛りが上がった。投票の結果、私が行きたかった姫路セントラルパークになったときは、とてもうれしかった。また、予定を決めたり、アトラクションの写真を見たりする時間もすごく楽しかった。でも、やはり行ってみると、比べられないくらい楽しかった。ドライブスルーサファリでは動物たちの迫力や生活を間近に見れ、興奮した。遊園地では、班の人と色々なアトラクションに乗って、叫んだりしてはしゃぎまくった。やることすべてが、とても楽しかった。時間が限られていて、乗りたいアトラクションに乗れなかったのも、もう一度このメンバーで行きたいと思った。

この一日旅行の目的は、「新しいクラスメイトと親睦を深める」ということだった。まさに、その通りになった。これから、最高学年として、先頭にたち、ほつま祭や体育会などの行事で計画・実行する機会が増えていく。一日旅行で深めた絆で、協力して壁を乗り越えていきたい。そして、普段の学校生活の中でも、後輩のお手本





となれるように、がんばっていききたいと思う。

## クラスの強みを発見

### 2組 村上 遼

今回、私達3年2組は、姫路セントラルパークに一日旅行で行ってきた。一時は少し心配されていた天気も、当日は快晴という、最高の条件での旅行だった。

私達は、入学してから、新型コロナウイルスの影響で、たくさんさんの行事が規模を縮小して行われたり、中止になったりしていた。そんな中で久しぶりの行事。みんながバスに乗って移動したり、遊んだりすることが純粋に楽しかった。また、今回の旅行のテーマであった、「クラス内の親睦を深める」こともできたと思う。

私はこの旅行で、3年2組の明るさに驚いた。行きのバスやサファリパーク、アミューズメントパークではもちろんのこと、帰りのバスですら明るい雰囲気だった。また、映画を見たり、ちよっとしたクイズをしただけでも大盛り上がり。しかも、ほぼ全員が楽しそうだったのが印象的だ。私は、これは3年2組の良いところであり、「強み」だと思った。ほつま



りみんな協力してクイズを解いたりしてとても楽しかったし、一人では分からなかったクイズの答えも皆で考えたら解くことができたので嬉しかったです。レオマワールドでは、少人数で行動したの

祭や体育会でもこの「強み」を発揮していければ良いと思った。

私がこの旅行で最も心に残っているのは、アミューズメントパークで遊んだことだ。私は今まで、一度もジェットコースターに乗ったことがなく、今回、初め



たり、たくさんお話が出来たりして楽しかったです。集団で行動することは意見の食い違いがあったりして難しいことでもあります。みんなが動くことはとても楽しいと思いました。

三つ目は、旅行の楽しさです。最近ではコロナウイルスが原因でどこかへ旅行に行く機会がまったくなかったので久しぶりに旅行ができてとても嬉しかったです。たくさん遊んで疲れましたが、クラスの友達と旅行に行けて楽しかったです。中でも一番楽しかったのはレオマワールドです。家族に絶叫系の乗り物に乗れる人がいないので、誰かと乗り物に乗ることはなかなか無い事でした。だから新鮮でとても楽しかったです。また、お土産を買うのも楽しかったです。友達と相談しながらお土産を選ぶのはとても楽しかったです。買ったお土産を部屋に差し入れしに行くのが嬉しかったです。

四つ目は、ルールやマナーを守ることの大切さです。一日旅行はとても楽しくてはしゃぐこともありましたが、自分たち以外にもお客さんはたくさんいたのでルールやマナーを守ることが意識することが出来ました。他の学校の人たちは制

て乗ったのだ。最初は少し緊張していたが、実際に乗ってみると、とても楽しく、やみつきになった。他にも、お化け屋敷やバイキングなども楽しかった。

今回の旅行は、本当に楽しかった。また、クラスのメンバーの普段は見られないような一面も見ることができた。これからも、クラス内外で親睦を深め、最高のクラス、最高の学年にしていきたいと思う。

## 自分たちで造りあげた旅行

### 3組 山崎 心愛

私が一日旅行を終えて気づいたことは四つあります。

一つ目は、計画を立てることの大切さです。私はこの一日旅行で実行委員として旅行の計画をたててきました。自分たちだけで時間配分や必要なお金の金額を調べるのはなかなか無い事だったので大変でしたがとても楽しかったです。いつもは先生が計画した予定通りに行動していましたが、自分たちの予定した時間配分だったのでより時間を意識して行動することができたと思います。

二つ目は、集団行動についてです。四国水族館の班行動で、一緒に見て回った

服で来ている人が多かったのですが、自分達は私服でした。それでも金光学園の生徒として遊びに来ているのでマナーを守ることを意識しながら楽しむことが大事だと思いました。そして、事前に決めていたルールを守ることにより楽しむことができましたと思います。

今回の一日旅行で予定通りに楽しむことが出来たし、クラスの親睦もより深まっ



たと思うので、この調子で中学校最後の一年を充実した一年にしたいと思います。

#### 友達の大切さ

4組 黒住蒼一郎

僕は、この一日旅行で友達の大切さを改めて教えられました。その理由は、3つあって一つ目は友達を大切にすることです。なぜなら、友達がいたからこそ一



日旅行に行けて楽しめたからです。自分一人だけではこんなことできないだろうし友達がいたからできたこともあるので友達を大切にしたいです。

二つ目は、友達と協力することです。レオマワールドでアトラクションを決めるとき意見が別れてどのアトラクションに乗るか悩んでいるとき意見を出しあつての話し合いになって、一人の友達が譲って「後で乗ろ」と言いました。その時、譲る・協力することはとても大切なことになりました。また、自分から折れることは簡単ではなく難しいことだともわかりました。

最後は、色々な人に感謝することです。この一日旅行を計画してくれた山路先生をはじめ担任の先生、バスの運転手さん、学年団の先生に感謝したいです。周りの人の支えがあるからこそ今の自分があることをもう少し深く受け止めていこうと行こうと思います。

今回、レオマワールドと四国水族館に行つて沢山の思い出をつくれました。レオマのジェットコースターと上空58メートルの空中ブランコは日頃のストレスを発散してくれました。四国水族館の



イルカショーでイルカの泳ぎに圧倒され、一番前で見ていたので沢山、水がかかりました。

この、一日旅行で友達との仲はとても深まったと僕は思います。残りの中学校生活を思いっきり楽しみます！

## 高1 一日旅行

### 最高の一日旅行

1組 山下 流葦

中野うどん学校ではうどん作りを体験した。時期によって粉と水の割合を調節している知り、びっくりした。うどんを切るときは思っていたよりもかなり細く切らないといけないかったのだとても大



変だったし、太さがバラバラになってしまふので本当に難しい作業だと痛感した。生地をこねている時は曲をかけてくれて、とても楽しく作業することができた。金毘羅山は上の方まで登った。上から登ってきた階段を見下ろすと、大きな達成感を感じることができた。景色を楽しみながら名物のお土産を買って、和三盆ソフトクリームを食べた。めちゃくちゃおいしかった。午後のレオマは雨が降っていたけど、友達と一緒にジェットコースターに乗ったり、空中ブランコに乗ったりした。怖かったし雨に濡れたけど、一緒に回ってくれて本当に楽しかった。今週から学校に来て不安はあったけど、周りの人の優しさに助けられて良い思い出をつくることができて良かった。

### 絆を深められた一日

1組 瀬尾 昂太

まず琴平ではうどん作りをした後、同じクラスの男子6人でうどんを食べた。いつも家で食べるうどんと食感やおいしさが全然違い、感動した。その後みんなでソフトクリームを食べ、少し石段を上り、写真も撮った。琴平は昔ながらの雰囲気



があり、うどん屋やアイスクリーム屋の店員さんとても温かく接してくれ、とても良い時間を過ごせた。レオマワールドでは同じ6人でジェットコースターや空中ブランコなどたくさんさんのアトラクションを楽しむことができた。この一日のおかげで仲良くなったみんなとさらに仲を深めることができたし、スマホOKにしてくださったおかげで仲間との思い出を写真に収めることができた。



## 初の高校行事！

### 2組 不動寺優斗

まず、コロナ禍に、一日旅行を計画してくださり、ありがとうございます。中学校の2、3年生ではコロナのせいでもどこにも行けなかったため、久しぶりにたくさん友達と団体で旅行に行けたのでとても楽しかった。最初のうどん打ち体験では香川の伝統に触れ、材料からうどんまで作ることができた。中でも伸ばした生地を約4ミリに切る作業はとても



難しかった。でも結果的には最後まで作り終えることができたので楽しかった。レオマリゾートでは高入生なので、中学から上がった人たちと仲良くなじめるか入学したときは不安だったけど、当日はたくさん友達と学校行事であることも忘れてしまうかのように楽しかった。しかし、楽しいこともあれば振り返ってみれば反省することもあった。時間に間に合わず、予定より遅れてしまうことがあったので、今後時間にもっと気を付けるべきだと思ふこともでき、素晴らしい一日旅行になったと思う。

難しかった。でも結果的には最後まで作り終えることができたので楽しかった。レオマリゾートでは高入生なので、中学から上がった人たちと仲良くなじめるか入学したときは不安だったけど、当日はたくさん友達と学校行事であることも忘れてしまうかのように楽しかった。しかし、楽しいこともあれば振り返ってみれば反省することもあった。時間に間に合わず、予定より遅れてしまうことがあったので、今後時間にもっと気を付けるべきだと思ふこともでき、素晴らしい一日旅行になったと思う。

## 雨の中の楽しい旅行

### 2組 赤松 萌音

一日旅行でのうどん作りはとても楽しかった。難しかったところは麺を細く切ることだった。気を抜いてしまうと太く切ってしまうので、切る時は気を抜かないように集中した。でも、生地を作る時音楽をかけながら、混ぜたりこねたりしたのはとても楽しかった。水と塩の分量が難しそうだったけど、また作ってみたいと思った。自由時間には「おいり」入りのアイスとクレープを食べた。とても



おいしくて、「おいり」もカラフルなので可愛いなと思った。レオマでは、バイキングやジェットコースターのアトラクションがとても楽しかった。もっと乗りたかった。しかし、お化け屋敷はとても怖くてすぐにリタイアしてしまった。もう絶対に入りたくない。今回の一日旅行は雨だったけどとても楽しい旅行だった。また行きたい。

## 友達の大切さ

### 3組 島原 利駆

僕は、この一日旅行を通してたくさんのことを学んだ。僕は友達と観覧車に乗ったり、ラーメンを食べたりして久々に遊ぶことができた。もちろん、高校生だという自覚を持って学園生らしく楽しんだ。僕は友達と過ごしている中で、友達はやっぱり最高の存在だと思った。一緒に楽しみ合える、分かち合える、教え合えるということとはとても素晴らしいということをお土産を買ったりうどんを作ったりする中で感じることもできた。これからも友達とたくさん関わって友情を深めていこうと思う。また、こういう機会があったら思ふ存分に楽しみたい。

## 雨の一日旅行

### 3組 古江 美樹

雨の一日旅行。雨だと知ったのは一日旅行の4、5日前。楽しみにしていたけど、ちゃんと楽しめるか心配だった。でも一日旅行を終えて、一番最初に思ったこと、それはとっても楽しかったということだ。私は初めてうどんを打った。結構大変だった。切るのも上手にできなかった。でも、

楽しくできた。周りのクラスの子が教えてくれたり、途中から音楽が流れてきたり、経験したことのないことができたことが嬉しかった。また、ニューレオマワールドで思いっきり遊ぶことができたこと。私は高いところあまり好きじゃないし、乗れる乗り物もあまり多くはない。でも、その分いろんな乗り物に挑戦できた。楽しい一日旅行を終えて、これからの高校生活、頑張ろうと気持ちを新たにしたい。

## 一日旅行

### 4組 大橋 琉成

4月21日に香川県に行った。あいにくの雨だったが、楽しく1日を過ごすことができたので良かった。最初、琴平で散策した。ここでは、約800円する金ピカのアイスを食べた。値段の割に味は普通のアイスで少し残念だった。でもせっかく行ったので食べられて良かった。さらにうどん作りも体験した。粉から自分の手で作るうどんは失敗してもおいしそうだ。作る工程の中では、音楽に乗りながら作ったので楽しかった。その後、レオマワールドに行き、絶叫系マシンを楽しんだ。雨だったけど楽しめて良かった。



ジェットコースターは、今まで乗った中で一番怖かった。1年4組で行く、最初の旅行はとても楽しかった。このおかげで仲がより深まった気がする。これからよりよろしくお願いします。

## 気分は晴れ模様！

### 4組 神原かの子

昨日、高校に入って初めての旅行に行った。バスでの移動の1時間半は長いと思っていたけど、友だちと話したりガキ使を見たりしていたら楽しくていつの間にか

着いていた。琴平では「おいり」のソフトクリームを食べた。私は牛乳と和三盆のMIXを頼んだが、今までに食べたことのない味ですごく美味しかった。午後にはようやくレオマダーニー!!とすごく楽しみにしていた矢先の雨。タイミングが悪すぎて少し落ち込んだ。でも最終的にはそんなことなんか忘れていろいろなアトラクションに乗りまくった。久々の遊園地だったので、絶叫系は乗るのに抵抗があったが、乗ってみたら意外と楽しくてまた乗りたいと思った。ジェットコースターは思ったより一瞬で終わってびびくりした。お土産もたくさん買えて良かった。帰りのバスでは、クイズもすごく楽しかったし、うまい棒ももらえた。塚原先生の誕生日も祝えてすごく充実した1日になった。この1日を通して、クラスのみんなとさらに仲良くなれた気がする。これを機に、今後の学園生活も楽しもうと思う。

### 雨に濡れた旅行

5組 山内 和人

新型コロナウイルスのオミクロン株流行拡大によって、私達は様々な行事の延期および中止を繰り返してきた。そんな中、

香川への一日旅行を計画して実行してくださった先生方には感謝しかありません。私達の現状を考え、私達のことを思っここまでしてくださり、本当にありがとうございました。

生憎天気が悪く、ニューレオマワールドに到着したあたりから雨が降ってしまっただけでも一日旅行はとても楽しいものだった。

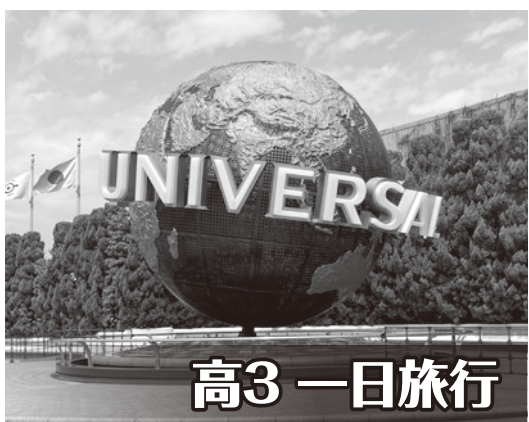
特にどちらも人生初の「うどん打ち体験」と「絶叫系アトラクションに乗る」はとても楽しかった。うどん打ちがあんなに分かりやすいなら、何度でも家で作れるんだろうなと少し嬉しくなった。また、レオマワールドの絶叫系アトラクションのうち、パイレーツという強烈な浮遊感を伴うアトラクションが最高に怖かった。

### 雨の中の一日旅行

5組 鷹武 杏珠

私は一日旅行で友人がいることのありがたさを感じた。琴平散策のとき、一緒に足湯に行ってスカートが濡らしたり、ソフトクリームを食べたりしたこと、レオマでお化け屋敷に怖がりたり、シューティングゲームで点数を競ったりするこ

とも、一人だったらできないと思うし、きっと楽しくないと思う。高校生になってあまり関われなかった人と久しぶりに話したとき、中学の頃と変わらないところに、私は高校に入ってからの不安が少しやわらぎ、安心することができた。これからの学校生活を友人と切磋琢磨しながら頑張りたいと思う。



4月14日、高校3年生は修学旅行の代替行事として、ユニバーサルスタジオジャパンに一日旅行に行きました。度重なる日程の延期やコースの変更を経て、おそらく最後のチャンスとなる今回、感染対策を十分に行い、無事に行うことができました。天候にも恵まれ、学年の親睦を深めることができました。また、修学旅行として、テーマパークとしてのUSJ

の工夫されている所や優れている所についても学んできました。

### 大切な思い出に

1組 西山 雄基

ようやく待ちに待った修学旅行に行くことができ、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。二、三回の延期を繰り返し、半ばあきらめかけ、正直、「もう良くね?」と思う時もありました。しかし、今となってはこの修学旅行は大切な思い出となり、本当に行ってよかったなと思います。

一つ、USJに行き、克服できたことがあります。それは、ジェットコースターに乗ることです。小さい時からずっと怖かったので、USJに行っても乗ることはないと思っていました。だから友だちがジェットコースターに乗る時、私は下で待っておこうとしたのですが、友だちに「一緒に乗ろう」と強引に誘われ、その場のノリで乗ることにしました。結果、すごく楽しくて、乗ってよかったなと思いました。友達に勇気づけられて踏み出した一歩は、私の中でとても貴重なものとなりました。こうしたチャレンジ精神が、何か私の中で新しいものを作るとい

じがして、その精神を大切にしていこうと思えるようになりました。

私以外に目を向けると、USJの建物やキャストの方など興味深いものがたくさんありました。特にハリポッターエリアの建物の工夫に感動しました。城の背景にホテルや高速道路などの余計な物がなく、魔法で作られた設定の建物は、屋根の先端や建物自体が曲がっており、その再現性を高め、訪れる人をより楽しませる工夫が施されていることに感動しました。キャストの方々はゲストを楽しませることに徹しており、特にすごいと





思ったのは、周りの目を気にしていないところ。私たちはつい周りの目を気にしてしまい、自分から発信できる人が少ないと思うので、見習うところがたくさんありました。

家族や友達ではなく、「修学旅行」だから学べたことがたくさんあったなと思います。

## USJのUJが1つ

### 2組 藤本 翔也

日本で最大級のテーマパークといわれているユニバーサルスタジオジャパン。私はなぜ日本で最大級と呼ばれているのか、その理由が分かった気がします。

まずアトラクションの質の高さです。私は絶叫系アトラクションが苦手な、遊べるアトラクションに限られてしまうことを予想していましたが、自分にも楽しむことができるアトラクションが多く、その中でも「ジョーズ」はかなりのクオリティでした。水の上に火が出てきたりサメがとびでてきたりと多くのアクションがあり、楽しむことができました。

USJの一番すごい所はクルーの対応力です。私がゲームの景品のぬいぐるみ

を持って歩いていると、すれ違うクルーの人たちが「おめでどう」とゲーサインをしてくださって、自分がこの景品を取ったことが誇らしくなりました。そしてもう一つ、暗い場所で列に並んでいる時に、私の前に並んでいる人がくつひもを結び直そうとして腰を下げました。するとすぐに近くにいたクルーの人がライトを当てて見やすくして、その気づく早さを感じました。

私は日頃から視野を広くすることを心がけていますが、なかなか難しく感じます。けれどもUSJのクルーは全員視野が広く、気配りができていて、圧倒されました。やはりUSJは日本最大級のテーマパークだと改めて思いました。

## 最高の一日旅行

### 3組 永井 千敬

僕がUSJに行つての感想は二つあります。まず一つ目が、キャストさんについて

です。これは今回に限ったことではないけれど、横を通つたり目が合うだけで手を振つてくれたり笑顔で話しかけてくれたりと、お客さんを楽しませたい気持ちにさせ



況にも恵まれ、最高の一日旅行になったと思います。

## さまざまな工夫が

### 4組 安達 唯月

僕はユニバーサルスタジオジャパンに行つて様々な工夫を感じました。

まず景観の工夫です。ユニバーサルスタジオジャパンには様々なエリアがあり、それぞれのエリアでは、自分がその世界に入ったように感じられます。特にスーパードラゴンワールドでは、入る直前に土管を置くことで日常を忘れて別次元に入った感覚を味わわせてくれます。また、土管を通つた後に通るピーチ



城には昔のマリオのゲームで登場する絵画が飾つてあり、子供だけではなく、大人も楽しめるような工夫がしてありました。また、ユニバーサルスタジオジャパンの目玉のジェットコースターである、バック・トゥ・ザ・ライドはユニバーサルスタジオジャパンに入る時から見えたり、フライングダイナソーはジュラシックパークのエリアでどこからでも見え、乗っている人たちの絶叫が聞こえてきます。これにより入場した人に自分も乗りたいという気持ちを持たせていると思いました。次にクルーの人たちです。ジョーズの船に乗っているクルーは恥ずかしさなど無く、声や動きなど全力でお客さんを楽しませてくれます。またお土産ショップの店員さんもお客さんに積極的に話しかけたり、ランド内のクルーもお客さんが持っているものや身に着けているものを褒めたりするなど、お客さんが嬉しくなるようなことを言ってくれます。

ユニバーサルスタジオジャパンではクルーの人や設計する人たちの様々な思いやりがあったので、自分もそのような思いやりを持って行動したいと思います。

## 無事に行けたことに感謝

### 5組 遠藤 一真

USJには何回か行ったことはあつて、アトラクションにも何回も乗つたことがあります。この日ほど人が少なく待ち時間がないことは一回もありませんでした。本当に奇跡で、心からびびりました。自分たちは天気にも恵まれ、状

僕はこの旅行に対して二つの思いがあります。一つ目は旅行に行けるといふ楽しさや嬉しさです。二つ目はこの旅行を実行すると決断してくれた先生方への感謝の気持ちです。僕は行く前まではとにかく蔓延防止等重点措置や緊急事態宣言といったコロナに関するものが発令されないかどうかだけをずっと心配していました。ですが、そういうこともなく、天候にも恵まれ、無事に行けたという事実にも感謝しました。今までの人生を振り返ってみると小・中・高とすべてにおいて修学旅行に行けたということは本当に有り難く、感謝すべきことなんだなと改めて思いました。こうしてコロナ禍が約2年近く続いている世の中では、修学旅行に限らず、行きたくても行けなかったり、会いたくても会えなかったりする人が沢山いる中でこうして共に高校生活を送ってきた仲間たちと一緒にいて、笑い合えるというのは幸せ以外の何物でもないのだなと気づかされました。僕としては修学旅行というイベント事に対して「楽しみ」だったり「嬉しい」、「ワクワク

する」といった感情が芽生えたことで、今までの自分よりも少し成長できたな、という気がしました。僕自身はあまり団体行動をするのが得意な方ではなく、いつも遅れをとってしまったり、人に迷惑ばかり掛けてしまったりすることが過去に多々あったからです。けれども今回の修学旅行に関しては「準備をしっかりとし、皆の足を引っ張らないようにしよう」とか「皆を遅らせないようにするために5分前には到着できるように済ませなければならぬものは済ませておこう」というように先を見据えて考えて行動することができたので、特にその辺りに関する自分の成長を感じることができました。今年卒業していった先輩方は修学旅行という一大イベントに行けなかった中、こうして奇跡的に行けたことに感謝し、この思い出を原動力にして、これから立ち振る舞ってくださる壁に全力で挑んでいきたいと思っています。

### 心に残る経験

#### 6組 山田 紋歌

4月の中旬にユニバーサルスタジオジャパンに一日旅行に行きました。滅多に行

くことのない場所へ友達と行って美味しいものを食べたり、アトラクションに乗りたり、おそろいのものを買ったりなど、ここ3年間くらいコロナによってたくさん制限され、学校行事が中止となったりする中で、このような素晴らしい経験ができたので本当に良かったと思います。そして、間違いなく人生の中で最も心に残る経験にもなりました。

これから先、受験生となって参加できない学校行事も指で数えられる程となりました。行事でも受験においてもこの3年間でできた、さらにはこの一日旅行でも親密な関係となった友達と一生懸命、悔いの残らないように頑張っていきたいと思えます。そして、色々と一段落したあと、一緒に遊びきれなかった人たちともユニバーサルスタジオジャパンなど大きく心に残る所で遊びたいと思います。

### クルーの対応力のすごさ

#### 7組 中嶋茉姫子

私は、このUSJ一日旅行を通してたくさんの思い出ができたし、たくさんのお話を学ぶことができた。

まず一つ目は、クルーの対応力のすご

さだ。園内を歩いていたらニコニコの笑顔で「そのカチューシャおそろいなんですね！かわいいですね！楽しんで来てくださいね！」など何人ものクルーさんが声を掛けてくれて嬉しかった。他にも、道に迷っていたら積極的に声を掛けてくれたり、料理ができるまでの間退屈にならないようにと話題をふってくれてたくさん話をしてくれたり、アトラクションだけでなく他の場面でもお客様を楽しませてくれてるのがすごいと思った。

二つ目は、アトラクションのリアルさだ。ミニオンのエリアなら本当にミニオンの世界に来たみたいだったし、ハリポッターなら本当にハリポッターの世界に来たみたいで、とてもリアルで驚いたし、とても楽しむことができた。

今回は、日帰りだったが、次にUSJに行く時は泊まりで行きたいと思った。



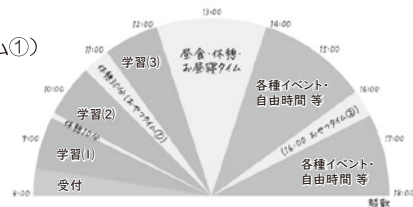




金光学園「わかばプロジェクト」は、今年の夏、地域教育に貢献するとともに、金光学園の良さを広く知っていただくことを目的に「学童サマースクール」を開催することになりました。

- 期間：7月20日～8月24日 ただし、日曜日、8月11日、8月13～15日は除く。
- 時間：8時～18時
- 場所：金光学園 記念講堂 他
- 対象・人数：小学3年生～6年生 定員 60名
- 参加費：27000円 おやつ代 2500円
- 1日のスケジュール：※これは基本で、イベントや状況によって変更があります。

- 8:00～8:30 受付
- 8:30～9:20 学習(1) 10分休憩
- 9:30～10:20 学習(2) 30分休憩(おやつタイム①)
- 10:50～12:00 学習(3)
- 12:00～14:00 昼食・休憩・お昼寝タイム
- 14:00～17:40 各種イベント、自由時間等 (16:00 おやつタイム②)
- 17:40～18:00 片付け・掃除・解散



■講座・イベントスケジュール ※都合により、予告なしに変更する場合があります。

月	日/曜日	午前 学習(1)(2)以外の、講座・イベント予定	午後 講座・イベント予定
7月	20/水	8:30～「学童サマースクール開校セレモニー」 [全員] 9:30～学習(夏休み計画づくり) [全員]	14:00～校内見学 [全員]
	21/木	10:50～ものづくりの楽しみ① (3～6年) ¥別途費用(材料代 約100円) ②～⑥同じ	14:00～16:00 夏宿対「作文が得意になる読書感想文講座①」 (3～6年)
	22/金	10:50～ものづくりの楽しみ② (3～6年)	14:00～16:00 夏宿対「作文が得意になる読書感想文講座②」 (3～6年)
	23/土	10:50～特別書道講座「JA共済」税など、書道コンクール出品予定の児童対象	16:00～17:30 学サマコンサート① [全員] 「南米の楽器アルパの演奏と海外の楽しいお話」(出演/内海淳子)
	24/日	休み/金光学園一日入学参加(オープン参加)	
	25/月		14:00～学サマ夏祭り実行委員会発足 (3～6年)
	26/火	10:50～ものづくりの楽しみ③ (3～6年)	15:30～17:30 「自由研究の目と芽!顕微鏡の世界が面白い」
	27/水	10:50～過去問講座 (6年 算数①) 10:50～実力アップ講座 (5年 算数①)	14:00～16:00 「手作り和菓子で、茶の湯を体験」 松濤園(玉島)のご指導、学園茶道部協力 ¥別途費用(和菓子材料代600円) (3～6年)
	28/木	9:30～15:30 倉敷科学センター研修 (3～6年) 「プラネタリウム、全天周映画鑑賞 他」 貸切バスで移動 ¥別途費用(入場料600円+昼食代)	16:00～17:30 学サマ夏祭り準備 (3～6年)
	29/金	10:50～過去問講座 (6年 国語①) 10:50～実力アップ講座 (5年 国語①)	14:00～17:00 夏宿対「きっと絵が好きになる絵画・ポスター教室①」美術道具、画用紙等持参 (3～6年)
	30/土	10:50～過去問講座 (6年 理科①) 10:50～実力アップ講座 (5年 理科①) 10:50～ジョーン先生と英語で遊ぼう① (3・4年)	16:00～17:20 学サマコンサート② [全員] 「吉備楽と吉備舞い」日本の優雅な伝統音楽を楽しもう! (出演/金光教典楽会有志)
	31/日	休み	
	1/月	10:50～過去問講座 (6年 社会①) 10:50～実力アップ講座 (5年 社会①)	14:00～「ダンボールで自分のお城を作ろう!」 (3～6年)

2/火	9:00～12:00 あつまれ!金光学園(陸上競技部)	
	10:50～過去問講座 (6年 算数②) 10:50～実力アップ講座 (5年 算数②)	14:00～17:00 学サマ夏祭り準備 (3～6年)
	9:00～12:00 あつまれ!金光学園(中学野球部)	
3/水	10:50～過去問講座 (6年 国語②) 10:50～実力アップ講座 (5年 国語②) 10:50～ジョーン先生と英語で遊ぼう② (3・4年)	14:00～15:30 学サマ夏祭り準備 (3～6年) 16:00～17:30 「皆さんにぜひ見てほしいスタッフ厳選映画鑑賞①」 (3～6年)
	9:00～12:00 あつまれ!金光学園(中学女子バスケット部)	
	10:50～過去問講座 (6年 理科②) 10:50～実力アップ講座 (5年 理科②) 9:00～12:00 あつまれ!金光学園(ダンス部)	14:00～17:00 学サマ夏祭り準備 (3～6年) 15:00～17:30 「パソコンで遊ぼう」 (3～6年)
5/金	10:50～過去問講座 (6年 算数③) 10:50～実力アップ講座 (5年 算数③) 9:00～12:00 あつまれ!金光学園(音楽部吹奏楽団)	14:00～17:00 学サマ夏祭り準備 (3～6年)
	10:50～過去問講座 (6年 国語③)	16:00～19:00 参加児童企画「学サマPresents 夏祭り」[全員] 「ゲームコーナー」「有志出し物」他 学サマコンサート③ [全員] 「土曜講座児童による箏演奏」「吹奏楽団演奏」「中村尚美トリオジャズコンサート」
	10:50～実力アップ講座 (5年 国語③)	19:30～21:00 星座観察 ※保護者同伴のみ参加可 オープン参加学園天文部共済 (3～6年)
7/日	休み	
8/月	10:50～過去問講座 (6年 社会②) 10:50～実力アップ講座 (5年 社会②)	学サマキャンプ実行委員会発足 (3～6年)
	10:50～過去問講座 (6年 算数④) 10:50～実力アップ講座 (5年 算数④) 10:50～ジョーン先生と英語で遊ぼう③ (3・4年)	14:00～17:00 夏宿対「発明工夫わくわく工作①」 (3～6年)
9/火	10:50～過去問講座 (6年 算数④) 10:50～実力アップ講座 (5年 算数④) 10:50～ジョーン先生と英語で遊ぼう③ (3・4年)	14:00～17:00 夏宿対「世界の仲間と遊ぼう!」 (3～6年) 岡大留学生、学園留学生、学園国際交流クラブ生徒と交流
10/水	10:50～過去問講座 (6年 国語③) 10:50～実力アップ講座 (5年 社会③)	
11/木	休み	
12/金	10:50～過去問講座 (6年 国語④) 10:50～実力アップ講座 (5年 国語④)	14:00～15:30 学サマコンサート③ [全員] 「初体験の"リコーダーアンサンブル"」(出演/山陽リコーダーアンサンブル)
	13/土	休み
14/日	休み	
15/月	休み	
16/火	10:50～過去問講座 (6年 算数⑤) 10:50～実力アップ講座 (5年 算数⑤)	14:00～17:00 「君の将来の夢は?～学園卒業生と夢を語ろう!～」 (3～6年)
	10:50～過去問講座 (6年 国語⑤) 10:50～実力アップ講座 (5年 国語⑤)	14:00～17:00 夏宿対「きっと絵が好きになる絵画・ポスター教室②」美術道具、画用紙等持参 (3～6年)
18/木	10:50～過去問講座 (6年 理科③) 10:50～実力アップ講座 (5年 理科③) 10:50～ジョーン先生と英語で遊ぼう④ (3・4年)	14:00～16:30 「皆さんにぜひ見てほしいスタッフ厳選映画鑑賞②」 (3～6年)
	19/金	キャンプ 場所/遥照山藤波キャンプ場 (3～6年)
	20/土	19日 10:00 現地集合～20日 14:00 現地解散 ※現地集合解散できない方は、学校集合解散になります。 移動は貸切バス。 ¥別途費用(食料、施設使用料他 約2500円) 詳細は後日連絡
21/日	休み	
22/月	10:50～ものづくりの楽しみ④ (3～6年)	14:00～17:00 夏宿対「発明工夫わくわく工作②」 (3～6年)
23/火	10:50～ものづくりの楽しみ⑤ (3～6年)	14:00～16:30 「皆さんにぜひ見てほしいスタッフ厳選映画鑑賞③」 (3～6年)
24/水	10:50～ものづくりの楽しみ⑥ (3～6年)	15:00～「学サマ修了証授与式」「お別れ会」「掃除・片付け」 [全員]

高3人権講演 「私の歩んだ道——見えなから見えなかったもの」  
NPO法人 ヒカリカナタ基金 理事長 竹内 昌彦先生



人の心を動かすことのできる人間に

1組 石井秀吏人

僕は、講演を聞いて、体に障がいをもつのは辛いことだけど、その辛さをさらに辛いものにするのも、やわらげることが出来るのも、出会う人や周りの環境によるものなのだと思います。竹内先生は、いじめを受けたり、自分の長男を障がいによってなくしてしまったりと、本当に辛い経験をしたけれど、素晴らしい親や先生に出会えたことで乗り越えることができたということを知り、とても心に響いた。

僕も、障がいを持っていて人々が人並みの幸福を感じることが出来るような人間社会をつくるためにできることがあれば、何でもしたいと思った。そして僕も、竹内先生のように人の心を動かすことのできる人間になりたいと思った。

人のために行動するのが幸せ

2組 三宅 彩乃

今日の講演で人との接し方について考え直すことになった。いつもは自分のために勉強する。したくないことも言われたからするというのが当たり前だった。しかし、竹内さんの講演を聞いて、人のために手伝う、勉強する、助けるというふうに考えて行動しようと思った。

特に印象に残ったのは「自分が視覚障がい者だから、他の人が健常者として生まれている」という言葉だ。これは、自分が人より劣っているから不幸だと考えるのではなく、自分のおかげでみんなが幸せだから、自分は人に幸せをもたらしているということだ。見方を変えるだけで、人は幸運な人になれるのだと学んだ。人の役に立つために行動していきたい。

人権講演を聞いて変わったこと

3組 佐藤 心南

私は今まで周りに目が見えない人がいないということもあって、何の知識もありませんでした。けど、今回の講演を聞いて、目が見えない人のために話す電卓や万歩計や時計などの機械があることを初めて知りました。いじめを受けていたけど、両親や先生のおかげで救われていたことなど想像以上だったのに、竹内さんは前向きで本当にすごいと思いました。私は、たまに駅や店で視覚障がい者の方を見ます。今まではどうしたら良いかわからず話しかけることができなかったけど、これからは困っていたら話しかけてサポートしたいと思いました。自分が元気に生活できているのを当たり前だと思わず、両親に感謝し続けたいと思います。

人のために

4組 山邊 奈穂

私は今日の人権講演を聞いて、今まで以上に人のために動ける人になろうと思いました。目が見えなかったり、耳が聞こえなかったりする障がいのある人を見

かけた時に、声をかけて手伝えることがあったら、手伝える人になりたいです。自分のことだけを考えずに、自分を犠牲にしても人のために動ける優しい人になりたいです。世界中の障がいがある人が、普通の生活を送れるように、募金したりしたいと思いました。人の支援を求めている人がたくさんいるので、それに気づいてあげられるようにしたいです。人のために動けるように勉強をして、正しい知識を持った人になりたいです。

やさしい目、やさしい心

6組 山田 紋歌

私は親せきに耳の聞こえない人がいました。小さい頃に耳が聞こえなくなっていたので、2歳児程度の言葉しか話すことができず、皆、意思疎通するのに苦労していました。しかし、接する際に、今日、竹内先生に教えていただいた「やさしい目、やさしい心」を持つことができていたのを楽しかったし、自分にとっても相手にとっても良かったなと思いました。また、自らの手で命を絶つ人が増えている事に関しても、「死んだらいけない」ということについて、親など周りの人の大切さを

慣れるまでゆっくり待つ

7組 森光 彩夏

語っていただったので、より心にしみて感じられました。いかなる面においても、今日の講演を聞くことができて本当に良かったなと思いました。

私が、竹内さんが言われた言葉の中で心に残ったのは、「その人が慣れるまでゆっくり待っていてほしい」という言葉です。最初に聞いた時、そんな事は言われなくても分かっていると思っていました。でも、話を聞いてみると、「早くしなさい」などと相手を急がせるような事はNGと聞いて、私はせっかちなので無意識にでも言ってしまうなと思いました。

私の最寄り駅の東福山駅に白杖を持った人がたまにいます。いつもは見えていただけだったけど、次もし見かけたら、「何か手伝うことはありますか?」と声をかけて、白杖と反対側の位置に立てるような人間になりたいです。

※5組生徒は学級閉鎖中のため参加できませんでした。



# 「Touch」 孤独から愛へ



6月1日(水)、3年ぶりの芸術鑑賞を開催。コロナ禍で2年連続の中止となっていた舞台、東京演劇集団風による「Touch」孤独から愛へ」がほつま体育館で上演された。

前日から体育館のフロアに巨大なセットが組まれ、当日午前中に高校生、午後中学生が約2時間の演劇鑑賞を楽しんだ。鑑賞後も有志の中学生・高校生が大勢集まり、全10名のスタッフの方々と交流しながら、舞台セット撤収のお手伝いをさせていただいた。

取り返しのつかないこともある

中1 中野 瑚々

今日の演劇で印象に残った場面は、最後におじいさんが死んでしまったところです。

お兄さんは、おじいさんを殺してしまっ

た後、すぐ後悔していました。でも、もうおじいさんは死んでしまったので呼んでも、体を揺らしても生き返りません。私は、この場面から後悔しても取り返しのつかないこともあるから、相手にむかいついたりした時も一度冷静になつてから次にする行動を考えようと思います。私は、一度そんな経験をしたことがあります。小学生の時、友達とけんかをしてしまつて少し言い過ぎてしまいました。でも、家に帰つてから「あんなことを言う必要なかったんじゃないかな」と後悔してしまいました。その友達は謝つて許してくれたけど、必ずしも許してくれるとは限りません。

今日の演劇で私はいろいろなことを学びました。これからは自分の経過を活かして、先を読んで行動しようと思います。

「愛」の重み

中2 田淵伸太郎

僕は今回の公演を通して特に「愛」を感じた場面が3つあります。

1つ目は、兄のトリートが弟のフィリップを親の代わりに養っていたことです。トリートは窃盗や恐喝など犯罪を犯しながらも、自分だけでなく弟まで育てていました。僕は最もフィリップを大事にしている人物はトリートだと思います。なぜならトリートは自分勝手だけど、常に自分とフィリップが幸せになることを望んでいたからです。そのため、フィリップはトリートのことを信頼していました。そのことはフィリップがトリートと楽しそうに鬼ごっこをしていることから読み取れます。お互いを信頼しあっていないと、あのような辛い生活には耐えられません。ハロルドが現れるまでの兄弟の生活は完全にお互いの信頼だけで成り立っていたのだと思います。

2つ目は、ハロルドが見ず知らずの自分を誘拐した兄弟たちに「愛」を与えたことです。僕は、ハロルドが縄をほどいたり、椅子に縛られた状態で動くのを自分が逃げるためだからだと思つていま

た。しかし、ハロルドは逃げ出すどころかフィリップの肩を抱き、兄弟を高待遇で雇い入れました。僕はこのことが信じられませんでした。ハロルドは自分と同じ境遇の兄弟にとても大きな「愛」を持っていたのだと思います。

3つ目は、ハロルドが辛抱強くトリートをしつけたことです。「愛」を与えられなかったために、「ほどほど」ということを知らず、感情にすべてを任せて行動していたトリートをしつけるのは相当難しかったと思います。ハロルドがトリートを気絶させてまで「ほどほど」を覚えさせようとしたのは、それだけトリートを愛していたからだと思います。

ハロルドが死ぬ直前まで兄弟に「愛」を与え、生きるすべを教えたことにはとても感動しました。最後にフィリップがトリートを抱いて泣き叫んだのは、ハロルドが伝えようとした「愛」をトリートにわかつてほしいという願ひだったのではないかと思います。

この物語は僕に「愛」の重みと尊さを教えてくれました。これからは周りから当たり前のように与えられる「愛」を大切に生きていきたいと思ひます。



演劇には人を動かす力がある

中3 濱田 健介

僕は、人生で初めて本格的な演劇を観ました。まず、会場に入り、劇のセット

を見て、細かいところまで工夫されてあり、とてもすごいと思いました。

演劇を観て、フィリップ、トリート、ハロルドの3人の、それぞれの独特なキャラクターに惹かれました。いろいろな過去をもつ孤児として育った3人の出会いは、孤独から新たな発見や成長をもたらしたし、ワクワクしながら観ることができました。



世の中のことを知らないフィリップと乱暴なトリート、2人の人生観を変えるハロルドの関係がとても心に残り、考えさせられるものがありました。一步を踏み出そうとするフィリップとは対照的に、素直に受け入れることができないトリートを見て、より深い悲しみと孤独があったのだろうなど切ない気持ちになりました。両親を失い、トリートにとつてフィリップは唯一のよりどころだったので、自分から離れていくことが寂しかったのではないかと思います。ハロルドを失って初めて存在の大切さに気が付いて後悔している姿をみて、自分の家族や周りの友人を大切に、素直に生きていくようにしたいとあらためて思いました。

この演劇を観て、演劇には人の心を動かす力があることを経験でき、興味を持つことができました。

### 素直になること

#### 高1 妹尾 侑佳

私は今回の劇を鑑賞して、2つのことを学びました。1つ目は、感情だけで生きていくのは損をするということです。お兄ちゃんがお金のために誘拐をして、

たと思います。人間にはそれぞれいろんな感情があつて、それをさらけ出すことが大事なときもあるけれど、抑制して、自分を抑えることも大事なんだと思います。2つ目は、人は素直になるべきだと言ふことを学びました。お兄ちゃんがハロルドのことを大切に思つて、慕つていたけれど、感情に左右され、思うように行動に表せていなかったのが印象的でした。でも最終的には、素直になつて、亡くなつてしまつたハロルドの手を握つて自分の肩や頭を撫でさせていたのが心に響きました。人は、相手の悪いところばかり見ってしまうことのほうが多いけれど、素直になつて、正直に生きていくことが大切なんだとわかりました。今回の芸術鑑賞会を経て、もっと素直になつて自分の大切な人に感謝ができるようになりたいなと思ふことができました。とても良い経験になりました。

### 愛とは何か

#### 高2 坂本 愛

今日の芸術観賞をみるまで、私は愛とはなんだろうかという質問に答えられなかったと思います。結論から言つと、Touch

「孤独から愛へ」を見てわからななし、絶対、答えることはできません。しかし、あることに気づくことができました。それは、今とても幸せな生活を送らせてもらっているんだなということです。

私には最後、兄のトリートに、ただ1人身近に置いていた弟が気持ちも弟自身も遠くに行つてしまつたという孤独が見えました。しかもトリートは、ずっと近くに置いていた弟はもちろん、ずっと自分に心を向けてくれていたハロルドも死んでしまつて、本当に1人になつてしまいました。私もトリートみたいに大きいものではないけれど、久々に会つた人と話していると、性格も、精神年齢も、同じ年月を過ごしたはずなのに、昔のように、自分が覚えていた人ではなくなつていくことがあります。その時、孤独まではいかなければ、寂しく感じます。だから少しだけトリートに共感しました。

私はこれから、たくさんの人に出会つて、たくさんの方を教えるのもらうと思ひます。その中でその人の心や性格が変わる事には逆らえないと思ひます。だからそんな中でもたくさんの方に出逢ひたいです。



ほとんどが悪の感情の状態が続いたけれど、弟は優しい心を持つて、すぐに受け入れていたのが印象的でした。悪や怒りの感情ばかりで生活していると、バスの中のように、自分にとって不都合であったり、嫌なことがあつたりするとすぐに自己中心的な正義を働かせてしまつてい



人とは未完成である。傍からしたらただの人なのに、どこか「人」らしくない一面がある。この物語の登場人物もまた何か欠けているのだ。まずは兄弟の弟フィリップだ。この人物はよく言えば純粹、悪く言えば無垢である。何も知らないから知りたい。それも良いものだけを。ゆえに彼は暴言の裏に隠された心配や愛情を知らない。科学的なものより上面の奇跡を信じるのだ。見限った母親をいつまでも信じるこの男を、純真という言葉だけで片付けるのはいけない。彼は惨忍な天使なのだから。そして今作、一番お兄ちゃんしているトリートだ。ついでに一番救われない人でもある。彼は人の悪意に敏感であり、母の盲像を弟から遠ざける兄としての気質を持ち、人を本当に信じる事ができない人だ。アングラに身を染めて弟を守るために盗みを働くも、どこかでは温もりを求める子供の精神がある。だがそれをねのけてしまう人の殻を被った難儀な人物。一番泥を被り、汚れを背負い、頑張ってきた先で待っていたのは、ぼっと出のやつに諭された守

護対象にして彼のよりどころである弟の自立。そんな彼を包み込んだ最後の手は、彼を救うに足り得ただろうか。今作「タッチ」は、人の未完成な部分を浮き彫りにする、人らしくない人間性を強調した作品だ。ハロルドという変化が、今まで普通だった二人の日常を、おかしい日常にしたのだ。一度変化してしまえば、源が居なくなってもその変化が元に戻ることはない。ある人は自由を知り、日常がおかしいと思ひ、ある人は大事なものを失った。変化は必要か？ タッチは変化を促す過程に過ぎないのだ。人との関わりもある種の変化である。この課題に私は永遠に悩んで変わっていくのだろう。

# Touch

◆孤独から愛へ◆

作: ライル・ケスラー Lyle Kessler

脚訳: 小田島恒志

上演台本・演出: 浅野佳成

ハロルド……柳瀬太一  
トリート……佐野準  
/ 蒲原智城  
フィリップ……佐藤勇太  
/ 石岡和総

作曲・音楽制作: 八幡茂  
舞台美術: 水野統夫  
照明: 坂野貢也  
音響: 上田舞子  
舞台監督: 佐田剛久



父も母も知らず、寒さや病気、空腹から守ってくれる人を持たない孤児のトリートとフィリップの兄弟は、ふたりきりで暮らし、兄は弟を親代わりとなって養っている。

ふたりの生活を守りつづけるために、兄は窃盗や恐喝で生計を立て、弟には外出したり本や新聞を読んで文字を勉強することを禁じている。

ある日、トリートは酒場で知り合った初老の紳士ハロルドを誘拐して身代金をせしめようと、泥酔させて、家に連れ込む。しかし誘拐は失敗する。孤児院で親の愛にあこがれて育ったハロルドは、トリートとフィリップを「アッドエンド・キッド」と呼び、兄弟の家でふたりの暮らしに入り込み、料理をし、着るもの、履くものを与え、疑似家庭を作り始める。

「元気づけてあげよう」と言いながら肩を抱いてくれるハロルドに、フィリップは初めて手と手が触れ合うことのぬくもりや安らぎを知り、触れられる(Touch)ことによって、身をゆだねて心を開いていく。そしてハロルドに導かれて、兄から禁じられていた外の世界を発見する。

しかしトリートは、それまでふたりきりで身を寄せ合って生きてきて、自分に頼りきりだったフィリップが自分から離れていくのを感じ、これまで作り上げてきた兄弟の家庭を危うくするため、ハロルドの「愛情」に身をゆだねることができず、肩を抱かれることを拒む。

ハロルドは、辛抱強くトリートをしつけ、教育する。頑なだったトリートも少しずつハロルドに心を開き始めるのだった。

## 東京演劇集団風

Tokyo Theatre Company KAZE

1987年に劇団創立。この名前には、風のように、形にとらわれずものをつくるという思いが込められています。

1988年に旗揚げ公演として「アナ・クリスティ」(作: ユージン・オニール)を上演。以後、近代・現代戯曲や新作翻訳劇の上演に意欲的に取り組んでいます。

また同年、「ハムレット」で初の地域巡演を行いました。高校生・中学生を中心とした全国巡演活動は現在、年間170ステージほど行われ、代表的なレパートリー「星の王子さま」(作: サン＝テグジュペリ)、「ヘレン・ケラー ～ひびき合うものたち」(作: 松葉功)、「Touch～孤独から愛へ」(作: ライル・ケスラー)、「肝っ玉おっ母とその子供たち」(作: ヘルトルト・プレヒト)などがロングランを続けています。

1999年には東京・東中野に創造活動の拠点となる専用劇場(レパートリーシアターKAZE)を建設。再演を重ね繰り返し上演することで、観客とともに質の高い舞台を育てていく「レパートリー・システム」をとり、年間7～10本の作品を上演しています。

2003年からは「外に開かれた窓」として(ビエンナーレKAZE 国際演劇祭)を開催。2012年に5度目を数えたこの演劇祭は、海外の優れた作品を招聘するのみならず、高い志を持った

演劇人との交流を育んできました。ミラン・スラデク(マイン劇場(ドイツ)、ウジェーヌ・イヨネスコ劇場(モルドバ)、マンツール劇場(フランス)、俳優オリビエ・コント(フランス)、作家マティ・ヴィスニョク(ルーマニア出身・フランス在住)ら海外の演劇人との交流を通じて、「ハムレット」「ジャンヌ・ダルク」(ウジェーヌ・イヨネスコ劇場との共同製作)、「三文オペラ」(ミラン・スラデク演出)など、劇団の財産となる新しいレパートリーも生まれています。

こうした演劇を通じた国際交流が評価されるにおよび、海外での招待公演も増えてきました。劇団代表 辻由美子がルーマニアで開かれた一人芝居の世界大会(第2回ガラ・スター国際演劇祭)でグランプリを受賞(ブライアン・マキャベラ作「ピカソの女たち～オルガ」)したのはその代表的な活動です。

「この時代、この社会において演劇の為すべきことは何であるか」という問いを、舞台と客席との出会いのなかに投げかけながら、私たち東京演劇集団風は、未だ形を採らない豊かさを求めて一観客に対して自在に、そして舞台に対して意欲的に取り組んでいきます。

東京演劇集団風 〒164-0003 東京都中野区東中野1-2-4  
Tel.03-3363-3261 Fax.03-3363-3265  
…E-mail: info@kaze-net.org URL: http://www.kaze-net.org/

# ある日のホームルーム



## 中学3年3組

今回は、4月28日(木)に実施した中3一日旅行に向けての取り組みを紹介します。

中3は、今年3月の時点で全員が個人端末を準備しました。中3での個人端末を使った学習への予習の意味も兼ねて、春休みにこんな宿題が出されました。

「二日旅行提案書」。バスを使い、片道2時間以内で行くことができる所、という条件のもとに提出されたプランを見ると、主に多かったのは四国や姫路方面でしたが、他にも尾道の千光寺、蒜山、穂市での塩作り体験、大久野島でうさぎと触れあう、宮島、児島湖で野鳥観察、美観地区散策、吉井農園で果物狩りなど、思わず「全部行きたい!」と思わせるほど魅力的なものでした。

春休みが明けた、4月12日(火)5:6時間目に、一人一人が、クラスの皆の前に立って、自分のプランをプレゼンし

ました。

皆はプレゼンを聞きながら、内容について簡単に評価します。魅力的なプランの立案も大切ですが、話し方や情報の提示の仕方など、良いプレゼンには色々な要素が必要で、この作業を通じて、一日旅行の目標の一つである「提案書の作成・プレゼンを通じて、自分の考えを相手に伝える力をつける」ことが達成されました。

全員のプレゼンが終わったら、いよいよ旅行先の投票です。評価用紙に第1・2希望まで書き、実行委員に提出しました。



集計の結果、四国水族館が最多だったので、3組の行き先は「四国」に決定しました。

さて、ここからは一日旅行実行委員たちの出番です。「四国水族館」への投票が最も多かったとはいえ、一日を充実して過ごすために、経路や他の行き先の候補も考えなくてはなりません。そこでもう一つの旅行先、「レオマワールド」が決定しました。

そして4人の実行委員たちが放課後各自の端末で調べながら、旅行計画の詳細を詰めていきます。

クラスの親睦が主な目的なのだから、まだ話したことがない人と気軽に話せるきっかけを作りたい、ということと四国水族館は班行動に決定しました。さらに実行委員が水族館を回りながら解けるクイズを作り、水族館巡りがより楽しくな



2022/04



るよう工夫しました。

さらにバス内での過ごし方も検討し、バスの中で流す映画について事前にアンケートをとり、移動時間も楽しめる工夫を凝らしました。

同時並行で「旅のしおり」作りにも着手し、端末を使って作ったしおりのデーターを担当とやりとりしながらスムーズに作業を行いました。



そして22日の金曜日。HRの時間を使って、旅のルールの徹底や、班作りなどを行い、バスの座席も決めるなど、旅行に向けて気持ち盛り上がりました。当日はお天気にも恵まれ、とても楽しい一日を過ごせました。一日旅行の目標の「活動を共にすることで、新しいクラスとの親睦を深める」ことと、「校外活動を通して、規律ある団体生活の大切さと楽しさを知る」ことを十分に達成できたと思います。

この一日旅行は、3年3組の皆で手作りした旅行でした。この経験をいかして、今後も大いに活躍してほしいと思います。



## AFS留学学生紹介

アメリカ  
イザベラ・ヘイズ

5月末より、アメリカのメイン州から、イザベラ・ヘイズさんが留学生として、金光学園に来ています。高校1年1組に在籍します。

「こんにちは! ベラです! アメリカから来ました! 今日から金光学園で勉強します! 読書が好きです!」  
ここにいるので、ワクワクしています! みんな話してください。よろしくお願います!





# オープンスクールPART1・2 一日入学のお知らせ

## [授業体験] 9:55～10:45

チャレンジコーナー  
9:55～12:05

	教科	内容「タイトル」	対象
小学生対象	A	国語 [7・8月] 日本語であそぼ / [8月] 入試対策授業	小学5・6年
	B	社会 [7・8月] 社会でえーが！～旅で考える社会科～ / [8月] 入試対策授業	
	C	数学 [7・8月] 知力の壁に挑め！学園王 / [8月] 入試対策授業	
	D	理科 [7・8月] 音の正体を探れ！ / [8月] 入試対策授業	
	E	英語 [7・8月] Let's have fun in English!	
	F	技術 [7月] 3Dプリンターで小物にチャレンジ	
	G	美術 [7・8月] 顔の書き方をマスターしよう！	
	H	体育 [7・8月] Let's play tee-ball! ※運動できる服装・靴を持参ください	
	I	チャレンジコーナー [7・8月] 楽しい工作にチャレンジ、探検ツアー (送中退場できます)	

## 14:25～15:15

	教科	内容「タイトル」	対象
中学生対象	J	国語 [7・8月] 心に響く英文～文庫に極意を学ぶ～ / [8月] 入試対策授業	中学生
	K	数学 [7・8月] 種も仕掛けもある数学マジック / [8月] 入試対策授業	
	L	生物 [7・8月] 酵素/パワを見てみよう!	
	M	化学 [7・8月] カラフルなイクラを作ろう	
	N	英語 [7月] 時制マスターになろう! / [8月] 入試対策授業	
	O	美術 [7・8月] 絵がもっと得意になるデッサン術	

\*教科によっては定員に限りがあります。先着順で定員になり次第、第2希望とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。  
\*雨天の場合、体育はタオルを用いたフィットネスを予定しておりますので運動できる服装・体育館シューズ・タオルをご持参ください。

## [部活動体験]

10:05～12:05(小学生)  
14:25～15:15(中学生7月)  
15:15～16:15(中学生8月)  
①新聞部 ②天文部 ③生物部(小学生のみ)  
④電気科学部(小学生のみ) ⑤書道部 ⑥茶道部 ⑦音楽部吹奏楽団 ⑧音楽部コーラス ⑨放送部 ⑩科学部(小学生のみ) ⑪美術部 ⑫ラグビー部(中学生のみ) ⑬ソフトテニス部 ⑭卓球部 ⑮野球部 ⑯サッカー部(小学生のみ) ⑰柔道部 ⑱剣道部 ⑲バスケットボール部 ⑳バレーボール部(男子のみ) ㉑少林寺拳法部 ㉒ダンス部 ㉓陸上競技(7月のみ)

\*小学5・6年生と中学生が対象です。  
\*運動部は運動ができる服装とお越しくください。(例:野球は長ズボン) 授業後の着替え場所はあります。  
\*道具類=野球部は帽子・グローブ・スパイク・ユニフォームがあればご持参ください。卓球部・バスケットボール部・バレーボール部・ダンス部は、体育館シューズをご持参ください。  
テニス部・卓球部はラケット、サッカー部はスパイク、剣道部は剣道具等をお持ちでしたらご持参ください。  
書道部は道具一式・紙をご持参ください。  
\*屋外スポーツは雨天の場合実施できないことがあります。また、上記以外の部活動は都合により出来ません。  
\*高校野球部の体験は中学3年生のみ、中学1・2年生は見学のみとなります。

日時 2022年7月24日(日) 午前(小学生)、午後(中学生)  
8月27日(土) 午前(小学生)、午後(中学生)

場所 金光学園中学・高等学校  
対象 小学5・6年生と保護者の方  
中学1・2・3年生と保護者の方  
※小学3・4年生対象のプログラムもあります。  
内容 授業体験(小学生・中学生)、部活動体験、学校説明会  
在校生・保護者とのフリートーク、個別相談会 その他

7/24(日) オープンスクール PART1			
	小学生5・6年生対象		小学生3・4年生対象
8:40～	受付(ほつま体育館下)		
9:10～9:20	オープニングセレモニー(ほつま体育館)		
9:20～9:40	オリエンテーション		
9:55～10:45	授業体験	学校説明会①(120大講義室)*保護者対象 体験発表	チャレンジコーナー (被服教室・図書室)
11:05～12:05	部活動体験	学校説明会②(120大講義室)*保護者対象 体験発表	
12:05～	中学入試対象個別相談会、在校生・保護者とのフリートーク		
中学生対象			
13:10～	受付(ほつま体育館下)		
13:40～13:50	オープニングセレモニー(ほつま体育館)		
13:50～14:10	オリエンテーション&学校説明会		
14:25～15:15	授業体験	部活動体験	高校入試対象個別相談会
15:15～	高校入試対象個別相談会、在校生・保護者とのフリートーク		

8/27(土) オープンスクール PART2			
	小学生5・6年生対象		小学生3・4年生対象
8:40～	受付(ほつま体育館下)		
9:10～9:20	オープニングセレモニー(ほつま体育館)		
9:20～9:40	オリエンテーション		
9:55～10:45	授業体験 入試対策	学校説明会①(120大講義室)*保護者対象 体験発表	チャレンジコーナー (被服教室・図書室)
11:05～12:05	部活動体験	学校説明会②(120大講義室)*保護者対象 体験発表	
12:05～	中学入試対象個別相談会、在校生・保護者とのフリートーク		
中学生対象			
13:10～	受付(ほつま体育館下)		
13:40～13:50	オープニングセレモニー(ほつま体育館)		
13:50～14:10	オリエンテーション&学校説明会		
14:25～15:15	授業体験	入試対策	高校入試対象個別相談会
15:15～16:15	部活動体験		
16:15～	高校入試対象個別相談会、在校生・保護者とのフリートーク		

## [学校・入試説明会]

月日	会場	内容及び時間帯	申込
6月4日(出)	井原 地場産業振興センター(経営研修室)	学校説明会(14:00～16:00)	不要
6月11日(出)	福山 県民文化センター(文化交流室)	学校説明会(14:00～16:00)	不要
6月11日(出)	岡山 ピュアリティまきび(飛翔)	学校説明会(14:00～16:00)	不要
6月18日(出)	倉敷 ライフパーク(第1会議室)	学校説明会(14:00～16:00)	不要
6月25日(出)	金光学園 [授業公開]	授業公開(8:50～ 自由参観) 学校説明会(10～12時)	不要
7月24日(日)	金光学園	オープンスクールPART1・2	必要
8月27日(土)		「一日入学」	
9月17日(出)	井原 アクティブライフ井原(視聴覚ホール)		不要
9月24日(出)	倉敷 ライフパーク(視聴覚ホール)	入試説明会(14:00～16:00) (個別相談会)	
10月1日(出)	福山 県民文化センター(文化交流室)		
10月1日(出)	岡山 ピュアリティまきび(飛翔)		必要 不要 不要
10月23日(日)	金光学園 ※地域会場(模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター福山	中学入試模擬テスト(9:00～12:30) 中学入試説明会(13:30～15:00) 個別相談会(15:00～16:00)	
10月29日(出)	金光学園 ※地域会場(模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター福山	高校入試模擬テスト(9:00～12:45) 高校入試説明会(13:30～15:00) 個別相談会(15:00～16:00)	
11月5日(出)	金光学園	入試説明・相談会(14:00～16:00)	不要

## 【オープンスクール PART 1・2・3・4】

対象	行事	日時	場所	内容	申込
小	PART 1・2 一日体験入学	7月24日(日)、8月27日(土) 8:40~12:05	金光学園	授業体験、部活動体験、 学校説明会、在校生・保護者とのフリートーク、 個別相談会	必要
中		7月24日(日)、8月27日(土) 13:10~15:15(7月) 13:10~16:15(8月)			
小中	PART 3 ほつま祭見学	9月10・11日(土・日) 10:00~14:00	金光学園	見学とスタンプラリー、 個別相談会	必要
小6	PART 4 一日入学	10月15日(土) 10:20~14:10	金光学園	見学・授業・食堂体験・ 部活動体験 他	必要

詳細は金光学園ホームページをご覧ください。

- 2023年度募集要項は7月下旬からお渡しできます。
- 募集要項の郵送をご希望の方は、ファックスまたはメールでお申し込み下さい。
- 7・8・10月の「一日入学」参加者(小6・中3)には、募集要項をお渡しします。また、Eメールアドレスをご登録いただくと、入試情報をはじめ各種情報を配信いたします。
- 金光学園ホームページに、学校概要・入試情報等を掲載しております。どうぞご覧ください。



<http://www.konkougakuen.net>

以上 よろしく願いたします。

## 生徒会活動

《中生徒会》 4月20日に新入生歓迎会をほつま体育館で開催した。今年度も感染症対策として全校が一度に体育館へ集まらないため、上級生はオンラインにて教室で参加した。各学年の出し物はできなかったが、各部がそれぞれの部活動の楽しさを新入生に伝える良い機会となった。

4月25日・4月27日の一日入部では、1年生は各部を回り、多くの者が入部し、元気に活動している。

5月は委員会活動や部活動委員会が開始し、今年度の活動方針や予算を作成した。事務局では総会に向けてクラス討議資料を作成し、評議員会に提出した。各クラスで活発な討議が行われ、それを基に各種委員会で論議された。また、ほつま祭や体育会の実行委員会が発足された。

6月2日には、晴天のもと、夏季球技大会が開催された。4月から中3が製作に取り組んだ兄弟学級Tシャツを着用し、青空のもと4色が色鮮やかであった。

各種目では、新しいクラスメイトとの交友を深める良い機会となった。

6月10日には生徒会総会が開かれた。今年度のスローガン「飛躍 Let's enjoy our school life!」は「生徒ひとりひとりが個性を伸ばして、みんなが活躍できるようにする場になるように、コロナ感染症対策を実施しながら安心して楽しめる学園を目指していこう。」という願いを込めていると会長の金光奏一君から説明され、基本方針と共に承認された。今年度の活動計画・予算・昨年度の決算が説明の後に承認された。

《高校生徒会》 4月16日(土)、生徒会役員選挙が行われ、生徒会長に2年1組の前田遥斗くんが選出され、副会長に2年1組の柳澤賢くん、1年5組の南陽菜乃さんがそれぞれ承認された。4月22日(金)には、晴天の下、高校3年生、2年生の春季球技大会が開催された。ソフトボール、ドッジボール、フットサル、ティーボールの4種目で熱戦が繰り広げられた。

5月27日(金)、第一回生徒会総会がオンラインで行われた。今年度の基本方針や予算について審議され、すべて原案通りに承認された。運営は円滑に進み、

発言した執行部、各種専門委員長、学年代表者会議議長らはいずれも堂々とした態度で発表を行った。その他、9月に開催されるほつま祭や体育会に向けて、各クラスや実行委員会等で着々と準備が始まっている。

《天文部》 中学1年生11名を加えて、部員28名で活動している。今年も毎週金曜日を中心に活動をしている。望遠鏡の使い方や学習したり、ほつま祭の展示の準備を行っている。

《科学部》 毎週月曜日と木曜日に、興味を持った内容について調べ、試行錯誤しながら楽しく実験を行った。現在は、夏休みの自由研究につながる実験を行ったり、ほつま祭で日頃の活動の成果を披露する為の準備を行ったりしている。

《電気科学部》 中学1年生5名、高校1年生2名の新入部員を加え、7月30日、8月28日のロボコンに向けて頑張っています。

《生物部》 10名の新入部員が入り、活動日である月曜日、水曜日、木曜日に野外採集活動や生物の飼育を精力的に行っている。夏休み中も環境学習出前講座を2回(8/1、8/8)企画している。

《書道部》 新入部員4名を加えて、中学

## 令和4年度大学入試結果

合格者数(現浪合計)  
令和4年4月現在

大学	合格者数	大学	合格者数
国立大学	37	私立大学	319
電気通信大	1	自治医大	1
東京学芸大	1	亜細亜大	1
京都市大	1	国立音大	1
神戸大	1	駒澤大	3
岡山県立大	1	川崎大	1
山口大	1	国学院大	1
山梨大	1	上智大	2
高知大	2	多摩大	1
香川大	1	正智大	2
高知大	1	津田塾大	1
鹿兒島大	1	東京造形大	1
公立大学	21	東京理大	1
横浜市立大	2	日本体育大	5
大阪公立大	1	武蔵野大	3
岡山県立大	1	立教大	3
岡山県立大	3	早稲田大	1
愛知工科大	1	鶴見大	2
愛知工科大	1	金沢学院大	1
愛知工科大	1	成安造形大	1
私立大学	319	合計	319
都留文科大	1	青山学院大	5
新見公立大	1	国学院大	1
福山市立大	1	上智大	2
高知工科大	1	多摩大	1
都留文科大	1	正智大	2
新見公立大	1	津田塾大	1
福山市立大	1	東京造形大	1
高知工科大	1	東京理大	1
都留文科大	1	日本体育大	5
新見公立大	1	武蔵野大	3
福山市立大	1	立教大	3
高知工科大	1	早稲田大	1
都留文科大	1	鶴見大	2
新見公立大	1	金沢学院大	1
福山市立大	1	成安造形大	1
高知工科大	1	合計	319
公立短期大学	1	東京工科大学	1
三重短大	1	岡山ITクリエーター	1
公立短期大学	1	岡山科学技術	1
三重短大	1	岡山情報ビジネス学院	1
公立短期大学	1	岡山理科大学	1
三重短大	1	広島県東部美容	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1	岡山ITクリエーター	1
三重短大	1	岡山科学技術	1
公立短期大学	1	岡山情報ビジネス学院	1
三重短大	1	岡山理科大学	1
公立短期大学	1	合計	7
三重短大	1	東京IT学院	1
公立短期大学	1		



9名、高校9名の計18名で活動中。部員一同、様々なコンテストに積極的に応募している。「成田山全国競書大会」において、高2寺川なのはが月輪賞を受賞した。《茶道部》4人の新入部員が加わり、みんなで教え合いながら、熱心に取り組んでいる。

《音楽部吹奏楽団》5月4日(水)に倉敷市民会館にて第50回記念定期演奏会を開催した。第一部では「ハリウッド万歳」に始まり、「シンセシス」「響」といったオリジナル作品を演奏した。第二部は「トゥルース」の演奏で華やかに幕が上がリ、第一部とは違った雰囲気でお客様に楽しんでもらうことができた。また今回は50回記念ということで、前顧問の佐藤先生にもご登壇いただき、「上を向いて歩こう」「カイト」の指揮をさせていただくことができた。また生徒のインタビュアーは50回の節目にふさわしいお話をたくさん聞くこともできた。さらにアンコールではサブライズで「勝利への賛歌」を現顧問の園田と佐藤先生の2人で指揮を振り演奏した。高校3年生はこの定期演奏会で引退することとなった。6月18日(土)には岡山シンフォニーホールで開催

された吹奏楽祭へ参加。新チームで初めての本番だったが、良い形で締めくくることができた。「オーメンズオペラ」『Y O A S O B I E メドレー』を演奏した。また今回の吹奏楽祭は、保護者の皆様にも聞いていただくことができた。

《音楽部コーラス》昨年12月11日(土)、6月から延期されていた岡山県高等学校合唱祭が高梁総合文化会館で実施された。

【曲目】惑星ループ、Jupiter

12月18日(土)に一般団体と中学・高校の合唱部による合同の交流コンサートに参加出演した。コロナ禍でなかなか他団体との合同演奏ができないなか、対策をとりつつ、久しぶりに一緒に歌うことが出たことは本当に貴重な経験となった。

【曲目】異聞・うらじゃ、にんげんっいいな

3月21日(月祝)に19回目の演奏会となるスプリングコンサートを里庄総合文化ホールフロイデで開催した。家族・友人、関係者など多くの人に来てもらうことができ、充実したコンサートとなった。

【曲目】第1ステージ 異聞・うらじゃ、惑星ループ、サボテンの花、ハナミズキ、そのひとつがうたうとき

第2ステージ 企画ステージ

4月6日(水)に校内で卒部式を行った。6月4日(土)に3年ぶりに予定通りの日程で岡山県高等学校合唱祭が高梁総合文化会館で開催された。新入部員にとって初舞台となったが、程よい緊張感のなか、楽しく歌い、踊ることができた。

【曲目】スマイル、イロトリドリ、いのちのうた

《中放送部》4月20日(水)の新入生歓迎会では司会を行った。25日(月)と27日(水)の一日入部では、高校生の部員と協力しながら部活動紹介を行った。6月2日(木)の球技大会では司会を行った。11日(土)には第39回NHK杯全国中学校放送コンテスト岡山県予選会(データ審査)の朗読部門に中2小平悠羽里が、アナウンス部門に中3古賀勇次が出場した。

《高放送部》1年生6人が入部。各個人で練習日を設定し、発声練習などの基礎的なことから取り組んだ。6月7日(火)に、就実中学・高等学校を会場に、「第69回NHK杯全国高校放送コンテスト岡山県予選」が開催されたが、残念ながら参加を見送った。

《美術部》新入部員4名を迎え、12名で活動している。各部員がほつま祭の展

示に向けた作品づくりに取り組んでいる。《美術部》1年生2名、2年生3名、3年生4名で活動している。6月4日に開催された令和4年度高校生美術コンクールに8名が出品し、静物デッサン部門で高3妹尾美海、古村彩佳が金賞、高3黒住彩羽、高2廣末葉月が銀賞、風景画部門で高3山下恵知が銀賞を受賞した。ほつま祭ポスター原画に使用する作品の制作に部全体で取り組み、投票によって高3黒住彩羽の作品を選出した。また、ほつま祭の部展示に向けてそれぞれが制作に励んだ。

《中・高新聞部》5月に教育実習生紹介新聞を発行した。7月6日(木)に、ほつま新聞3月号記事作成のため、岡山県立図書館に取材に行った。

《文芸部》新入部員2名を迎え、高2が1名、高1が2名の3名で活動している。毎月テーマを設けて小説を執筆した。作品は月例集にまとめ、批評会を行うことで互いに研鑽を積んだ。

《軽音楽部》新たに高校1年生が6名入部した。ほつま祭での発表に向けて日々活動している。

《囲碁将棋部》5月22日(日)に行われ

た、第52回岡山県高等学校将棋選手権大会兼第58回全国高等学校将棋選手権大会岡山県予選会の個人戦Aに4名(高3中川晃希・川崎琉以・高2藤井敬久・柳澤賢)、個人戦Bに3名(高2佐野大翔・高1西和史・川崎有生)が参加した。また、コロナ禍を経て3年ぶりに6月26日(日)に開催された、第35回岡山県高等学校将棋竜王戦兼第35回全国高等学校将棋竜王戦岡山県予選会に4名(高3中川晃希・高2仕田原良・藤井敬久・柳澤賢)が参加した。いずれも上位大会の出場権は得られなかった。

《ラグビー部》4月16日(土)、24日(日)に美作ラグビー・サッカー場で行われた中国高等学校ラグビーフットボール大会岡山県予選会に岡山一宮と関西との合同Aチームとして交流戦(30分ストリート)に出場した。合同B(岡山工業・高松農業)に24・5、相手の棄権で2勝、合同C(岡山城東・津山工業・津山高専)に0・32、5・37で2敗だった。6月4日(土)〜5日(日)に美作ラグビー・サッカー場で行われた岡山県総合体育大会ラグビーフットボール競技のBブロックに

岡山朝日・岡山城東・岡山一宮・津山工

業・津山高専との合同Aチームとして出場し、合同B(岡山工業・高松農業・関西)と対戦した。一日目は55・15で勝ち、二日目も41・19で勝ち、Bブロック優勝を果たした。

《中男子ソフトテニス部》5月には4名の新入部員を迎え、計28名で今年度の活動がスタートした。5月3日に福山テニスセンターで行われた第16回びんごふくやま中学生ソフトテニス交歓大会に3チームが出場し、Bチームが準優勝、Aチームが3位に入った。5月28日に福山市竹ヶ端運動公園テニスコートで行われた第36回福山市中学生ソフトテニス交歓大会(個人の部)に5ペアが出場し、金光・梁原ペアがベスト8に入った。6月18・19日に笠岡総合公園テニスコートで行われた備南西地区総体では、個人戦に6ペアが出場し、横溝・定金ペア、高野・板野ペア、生藤・桑田ペアが初戦敗退、森永・浦上ペアが2回戦敗退、金光・梁原ペアがベスト8で県大会の出場権を獲得。団体戦では予選リーグで矢掛中学校に2・1で勝利するも、井原中学校に1・2で敗退し、県大会出場は果たせなかった。

《中女子ソフトテニス部》中2の新入部

員と中1の新入部員が1名ずつ入り、合わせて12名で活動中。6月の夏季地区総体では、新入部員を除く5ペアが個人戦に、また4ペアが団体戦に出場した。

《高男子ソフトテニス部》 4月16日(土)、岡山県春季高等学校ソフトテニス選手権大会が水島緑地福田公園テニスコートでおこなわれ、2ペアが出場したが1回戦で敗退した。

4月30日(土)には全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会(ダブルス)の備西地区予選会が笠岡総合スポーツ公園テニスコートでおこなわれた。2ペアが出場したが、すべて初戦敗退し県大会への出場権の獲得はならなかった。

そして6月11日(土)、全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会(団体)の岡山県予選会が浦安総合公園テニスコートでおこなわれたが、1回戦で古池高校に0対3で敗れ、初戦で敗退した。《高女子ソフトテニス部》 2年生2名1年生3名の計5名で今年度の活動がスタートした。

4月16日に福田公園テニスコートで3われた春季高校選手権《個人》に1ペア出場し、1回戦敗退。4月30日に笠岡総

合スポーツ公園テニスコートで行われたインターハイ・中国大会備西地区予選《個人》に2ペアが出場したが、ともに初戦敗退で県大会出場はならなかった。2ペアであるため、備西地区総体(ソフトテニス競技《団体》やインターハイ・中国大会岡山県予選《団体》には出場すらできず、悔しい思いを抱いている。

《中卓球部》 4月29日に中学生以下オープン卓球選手権大会に参加した。中2男子の部で安藤(L2)と山田(L2)がベスト16、予選2位トナメントで小谷(L2)が1位になった。中2女子の部で藤原(L2)がベスト4に入賞した。予選3位トナメントで津尾(L2)が1位、石倉(L2)が2位になった。

5月3、4日に岡山近府県卓球選手権大会に参加した。男子団体では予選リーグで芳田Bに3-2、倉敷福田Bに3-0、京山に2-3の2勝1敗で続く2位トナメント1回戦で岡大附属に2-3で敗れた。男子個人では安藤がベスト18に入った。女子個人では藤原がベスト32に入った。

6月12日に競技力別団体戦・ダブルス卓球大会に参加した。男子団体では準決勝で木之子に1-3で敗れたがベスト4

に入った。男子ダブルスでは安藤・山田組がベスト8、石村(L3)・中藤(L3)組と小谷・佐田(L2)組がベスト16に入った。女子ダブルスでは高木(L3)・藤原組がベスト8に入った。

6月18、19日に備南西地区総体(卓球競技)に出場した。男子団体では寄島に3-0、高屋に3-2、笠岡東に3-1、金光に0-3、笠岡西に3-2、芳井に3-1の5勝1敗で決勝リーグに進み、木之子に0-3、大島に2-3、神島外に3-1で4位に入り、県大会出場を決めた。女子団体では井原に2-2、小北に3-0、木之子に1-3、大島に1-3、高屋に3-0で順位決定リーグに進み、笠岡東に2-2、笠岡西に1-2で12位であった。男子個人ではベスト16に石村と山田、ベスト32に安藤と小谷が入った。女子個人では藤原が3位に入賞し県大会出場を決めた。ベスト32に高木が入った。

《高卓球部》 5月7-8日に県高等学校卓球選手権(シングルの部・ダブルスの部)に出場した。男子シングルスでは、白神(U1)がベスト32、藤井・光田舜(U2)・斎藤(U1)がベスト64、女子シングルスでも川上(U1)がベスト64に入り、

次回大会でのシード権を獲得した。男子ダブルスでは、藤井・白神組がベスト16に入った。

6月4-5日に県総体卓球競技(団体戦)に出場した。2回戦倉敷翠松に3-0、3回戦岡山朝日に3-0で勝ち、4回戦で岡山東商に2-3で敗れベスト16だったが、その後のベスト16リーグでは岡山操山に3-0、倉敷商業に3-0、総社に3-1で勝ち、次回大会でのシード権を確保した。

6月12日に競技力別団体戦・ダブルス卓球大会に参加した。男子団体ではAチームが準優勝、男子ダブルスでは藤井・白神組がベスト4、光田隆・山本(U2)組がベスト8に入った。

《中サッカー部》 6月12日に練習試合(60分×2)を行い、玉島西中学校に12-1で勝利、船穂中学校に10-0で勝利した。6月18日・19日に矢掛総合運動公園で地区大会が行われ、一回戦に矢掛中学校と対戦し、0-0でPK戦となった。PK戦の結果は5-6で敗れてしまった。敗者復活戦で金光中学校・里庄中学校の合同チームと対戦し20-0で勝利した。準決勝では鴨方中学校と対戦し、0-1

で敗れてしまった。

《高サッカー部》 3月20日に練習試合(60分×3)を行い、対佐世保工業(1-5)・(0-3)、対山陽学園(0-2)という結果であった。高円宮杯U-18サッカーリーグ2020 KAYAMA チャレンジリーグの結果は次の通りである。4月24日、対倉敷天城(2-2)、B戦(1-4)、対操山B戦(0-4)。4月29日、対興陽(0-3)、B戦(2-0)。5月1日、対津山工業(0-0)。5月3日、対笠岡(1-2)、B戦(1-1)。5月7日・8日に行われた備中支部総体備西大会では、一次リーグで、対井原・矢掛(0-0)、対龍谷(1-2)、対笠岡工業(4-0)、対玉島商業(1-1)という結果であった。5月15日の県総体2回戦は、対操山(0-4)であった。

《中野球部》 4月30日、5月1日、3日に笠岡市営球場などで行われた第17回笠岡東ライオンズクラブ杯では、1回戦で金光中学校に7-0、二回戦で金浦・笠岡西中学校に8-1、準決勝で井原中学校に3-2、決勝戦は木之子中学校に22-0で勝利し、2年連続6度目の優勝を果たした。個人賞として最優秀選手賞に河本直樹くんが選出された。

6月18・19日にどんぐり球場などで行われた令和4年度中体連備南西地区総体では、代表決定戦で里庄・小北中学校に8-2で勝利し、2年連続13度目の県大会出場を果たした。

《高野球部》 4月9日に開幕した春季岡山県高等学校野球大会西部地区予選は倉敷青陵高校に7対4で勝利し、県大会出場の権利を獲得しました。4月23日から令和4年度春季岡山県高等学校野球大会が行われ、1回戦で興陽高校に10対3(7回コールド)で勝利しましたが、2回戦で創志学園に3対12(7回コールド)で敗れ、ベスト16での敗退となりました。

6月25日に第104回全国高等学校野球選手権岡山大会抽選会が行われ、金光学園の初戦は7月11日11時45分よりエイコンスタジアムで笠岡商業高校と決定しました。また、本校の飯田大成主将の選手宣誓も決定しました。

《柔道部》 1月に予定されていた第44回全国高等学校柔道選手権大会岡山大会は新型コロナウイルス感染症の関係から規模縮小開催となり、本校生徒は出場できなかった。



4月23日、24日に玉野スポーツセンターで第69回中国高等学校柔道大会岡山県予選会が行われた。男子団体戦は岡山学芸館に敗れた。男子個人戦は6名が出場し、高3柴田真喜人が60kg級で第3位となり、中国大会の出場権を得た。

5月4日、5日に岡山武道館補助道場で合同練習会があり、参加した。

6月3日、4日に玉野スポーツセンターで第61回岡山県高等学校総合体育大会柔道競技が行われた。男子団体戦は岡山工業に3-2で勝ち、続く2回戦で関西に敗れた。男子個人戦では6名が出場し、それぞれが善戦した。

6月12日に広島県立総合体育館で第69回中国高等学校柔道大会が行われた。男子個人60kg級に高3柴田真喜人が出場したが、1回戦敗退であった。

6月18日に里庄武道館で令和4年度岡山県中学校体育連盟備南西地区総合体育大会柔道競技が行われた。男子団体戦は笠岡東中と里庄中とともに敗れた。男子個人戦には3名が出場し、中2中井康介と石井遥翔が県総体の出場権を得た。  
《中剣道部》新中1男子1名が入部し、元気に活動している。

中野結・三上幸奈が準決勝に進出した。

《中男子バスケットボール部》6月18、19日に備南西地区総合体育大会（バスケットボール競技の部）が矢掛中学校で行われた。準決勝では、里庄中学校と対戦し30-61で勝利、続く決勝戦では、鴨方中学校と対戦し57-52で敗れ、準優勝となり県大会への出場を逃した。この大会をもって中学3年生は中学での部活動を引退となったが、3年間で培った力を発揮できた大会となった。

《中女子バスケットボール部》新学期になり、新1年生7人が新たに入部し、2年生2人、3年生8人の総勢17人で活気のある活動が始まった。6月18、19日に備南西地区総合体育大会（バスケットボール競技の部）が矢掛中学校で行われた。1回戦、里庄中学校と対戦し16-17で勝利。準決勝では、笠岡東中学校と対戦し55-48で敗れ、準決勝敗退となり県大会への出場は逃してしまった。

《高男子バスケットボール部》5月27日（金）から2週に渡り、岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部が行われた。男子バスケットボール部は新人戦の結果で第8シードに入ったた

《高剣道部》（中国大会予選会）4月23日（土）～24日（日）、岡山市総合文化体育館で開催され、男子団体試合は2回戦で総社高校に1対2で負ける。男子個人試合は才野恵翔（1年）が1回戦、山下劉（1年）、浅野優斗（3年）が2回戦敗退であった。（備中支部剣道大会）5月7日（土）、倉敷商業高校体育館で開催され、2回戦で倉敷商業高校に0対5で負ける。

《原高校総体》6月4日（土）～5日（日）、笠岡総合体育館で開催され、男子個人試合は才野が2回戦、浅野が1回戦敗退。男子団体試合は、4月に入部した川元桂太郎（1年）を加えた4名で出場。健闘したが、1回戦で二宮高校に0対5で負ける。

《中少林寺拳法部》第15回岡山県中学生少林寺拳法大会（6/5）に出場し、男子単独演武の部で西山和志（3年）が2位、渡邊康稀（3年）が7位、中尾優那（3年）が11位であった。

《高少林寺拳法部》第61回岡山県総体（6/5）に出場し、男子単独演武の部で田淵春成（3年）が2位、友田隼咲（3年）が3位、原田大地（2年）が4位、女子単独演武の部で岸本奈那美（1年）が5位、女子組演武の部で尾高愛琉・高橋里桜奈

め、1回戦はシードとなった。28日（土）に倉敷青陵高校で行われた初戦は総社高校と対戦し、84-55で勝利した。翌29日（日）には水島緑地福田公園体育館で本大会優勝した第1シードの岡山工業と対戦した。前半終了時では8点差と接戦に持ち込むことができたが、最終スコア94-61で敗れ、本大会をベスト8で終えた。本大会をもって高校3年生は高校での部活動を引退するが、この3年間の努力がしっかりと出た試合となった。

《高女子バスケットボール部》5月7日、8日に第61回岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部備南西地区予選会に出場した。1回戦玉島商業高校に40対77、ブロック決勝で天城高校に51対62で勝ち県大会出場を決めた。5月27日に令和4年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技岡山県予選会に出場し、玉野光南高校に81対48で敗れた。

《中男子バレーボール部》6月の備南西地区大会で優勝。7月の県大会に出場。

《高男子バレーボール部》4月 岡山県高等学校春季バレーボール大会  
2回戦 金光学園2-0東岡山工業  
3回戦 金光学園2-0高梁

（1年）が優勝、籠崎なずな・恒本紗都（1年）が2位、女子団体演武の部で優勝した。第32回中国高等学校少林寺拳法選手権大会（6/18・19）に出場し、男子単独演武の部で田淵春成が3位、友田隼咲が6位、女子組演武の部で籠崎なずな・恒本紗都が2位、尾高愛琉・高橋里桜奈が3位、女子団体演武の部で2位に入賞した。

《中陸上競技部》【県大会】岡山県混成記録会が開催され、100mで瀧本椰々子が1位、水流和々花が3位。走幅跳で佐藤地央が1位、為房百恵が3位に入賞した。

岡山県中学校陸上競技選手権が開催され、2年100mで瀧本椰々子が1位、佐藤地央が2位、水流和々花が4位。3年100mで為房百恵が4位。200mで瀧本椰々子が1位、水流和々花が2位。100mハードルで伊藤瑞が4位。走幅跳で為房百恵が2位、佐藤地央が3位に入賞した。

《高陸上競技部》【中国大会】中国高等学校陸上競技対校選手権大会が鳥根県で開催され、走幅跳に松村涼太郎が参加した。【県大会】岡山県高等学校総合体育大会陸上競技の部が開催され、松村涼太郎が走幅跳で4位・110mハードルで8位。女子4×100mリレーで六原未智・馬場穂佳・

準決勝 金光学園2-0関西  
決勝 金光学園0-2玉野光南  
準優勝 中国高等学校バレーボール選手権大会出場権獲得  
5月 中国高等学校バレーボール選手権大会 中止  
6月 岡山県高等学校総合体育大会バレーボール競技  
4回戦 金光学園2-0倉敷青陵  
準々決勝 金光学園2-0高梁  
準決勝 金光学園0-2岡山東商業  
準優勝

引きつづき全国大会を目標に頑張ります。  
《ダンス部》新入部員が8名入り、中高合わせて24名で活動中。現在は夏の玉島ハーバードダンス・9月のほつま祭に向けての練習に励んでいる。

《家庭科同好会》新入部員1名。部員2名で、ほつま祭での展示に向け、活動している。

《木綿崎ボランティア部》新年度になり、高3が5名、高2が11名入部し、16名の部員で活動している。現在は、ほつま祭の企画について立案を行っている。

# 学園だより

**出校日・大祭奉仕** 4月6日、在校生が出校し、新クラス発表の後、教室移動を行った。新中2は金光教本部に集合し、大祭奉仕を行った。

**入学式** 4月8日、感染症対策のため、昨年度同様に規模を縮小して挙行した。中学は午前中に、高校は午後からほつま体育館で行い、それぞれ123名、171名の新入生が希望に胸を膨らませて入学した。

**始業式** 4月9日、オンライン形式で1学期始業式が行われた。校長式辞に続き、在校生を代表して高3の木下幸喜くんから歓迎の言葉、また新入生を代表して中1の下梶碧子さんから挨拶がそれぞれあった。

**◇新入生代表挨拶(中1 下梶 碧子)**  
暖かな春の訪れと共に、私たち中学校123名、高等学校171名は、金光学園の生徒として新たな仲間と新しい一歩を踏み出します。

真新しい制服を身にまとい、私たちはこれからの学園生活に期待や希望に胸を膨らませています。勉強だけでなく、部活動や学校行事にも積極的に取り組んでいこうと思います。

また、新たな経験をしていくにあたって、先生方、先輩方、皆様のお力をお借りする時が来ると思います。その時はどうぞ温かく、時には厳しくご指導くださいますようお願いいたします。

私達新入生一同は、歴史と伝統ある金光学園の生徒としての誇りを持ち、「人をたいせつに」自分をたいせつに、物をたいせつに」この言葉を胸に、実りある学園生活を送っていきたく思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

**新入生本部参拜** 4月11日、中1と高1が金光教本部に参拝し、これからの学園生活の立ち行きをお願いした。その後、境内でクラス毎の記念写真を撮った。

**◇お届け(高1 岸本 康平)**  
4月8日に中学校新入生123名、高等学校新入生171名、合計294名は多くの方々のご祝福を受け、金光学園に無事入学させていただきました。どうぞ皆様にお礼を申し上げます。



私たちは自らの意志で勉学やスポーツに励むことを目的として金光学園に進学しました。それぞれの夢を実現させるために精進し、一日一日を大切に過ごして、充実した学園生活を送れるようにすることを誓います。

この先、大きな壁にぶつかるとはありますが、学園の合言葉「人をたいせつに」自分をたいせつに、物をたいせつに」を心にとどめ、先生方、家族、友人など多くの人に支えていただきながら、乗り越えていきたく願っています。

また、新型コロナウイルスの影響で制限をしながら様々な行事が行われることが予想されますが、全員が高い志を掲げ、安心安全に過ごせるよう、どうぞよろしくお願いたします。

## ◇教主金光様のごことば

皆さん、おめでとございます。どうぞ、お世話になるすべてにお礼をいう心をもって、おかげを頂いていかれますよう、お祈りいたします。

**街頭交通指導** 4月11日から16日まで教員が通学路に立ち、交通安全・交通マナーについての指導を行った。

**なんでも相談室** 毎週水曜日に午前10時から午後5時まで第1相談室で開設され、学校カウンセラーがカウンセリング・助言・支援を行っている。

**検尿** 4月13・14日に検尿を実施した。  
**高3一日旅行** 4月14日、高3がUSJ(ユニバーサルスタジオジャパン)への一日旅行を行った。

**高1進路講演** 4月15日、高1がベネッセコーポレーションの若間健太氏による「最高の高校生活を送るために、1年生で心がけるべきことは？」と題した講演を聴き、高校生としての学習において大

切なこと、日々の過ごし方について学んだ。

**中1レクスタ** 4月15・16日、中1が入校時レクスタを行った。初日は「スタディ・デイ」として、PC指導やスタプラの使い方を学び、各教科からの小テストを実施した。二日目は「レクリエーション・デイ」として長縄や集合訓練を行い、親睦を深めながら集団生活の規律を学んだ。

**高校生徒会役員選挙** 4月16日、高校ほつま生徒会役員選挙が行われた。開票の結果、会長に前田遥斗くん(高2)、副会長に柳澤賢くん(高2)と南陽菜乃さん(高1)が決定した。

**身体計測** 中学生は4月18日に、高校生は5月25～27日に身体計測を行った。

**内科・歯科健診** 高校生は4月20日に、中学生は21日に内科・歯科健診を行った。  
**中学新入生歓迎会** 4月20日に開催され、新入生に向けて上級生が部活動の紹介などをを行った。

**高1一日旅行** 4月21日、高1が香川県への一日旅行を行った。中野うどん学校でのうどん打ち体験、琴平散策、NEWレオマワールドを楽しみ、親睦を深めた。  
**高校春季球技大会** 4月22日、春季球技大会が行われた。高2・高3がソフトボー

ル、フットサル、ドッチボール、テニールで熱闘した。

**やつなみ保護者会総会** 4月23日、1限に授業参観、2限に学級会、3限にオンラインによる総会が行われた。

**心音心電図・血圧** 4月25日に中1、26日に高1を対象に実施した。  
**1日入部** 4月25日・27日に行われ、新入生が部活動を見学・体験した。

**中3一日旅行** 4月28日、中3が一日旅行を行った。1組と2組は姫路セントラルパーク、3組と4組は四国水族館とNEWレオマワールドを楽しんだ。

**NHKアナウンサーの防災教室** 4月28日、中1(5限)・中2(6限)を対象にNHKアナウンサー室塩田慎二氏(金光学園卒業生)による防災教室が行われた。「大切な人」の命を救う主役は「あなた」です」をテーマとした講演を聴き、自分の「大切な人」へ伝えることばを考えるワークショップに取り組んだ。

**高3人権講演** 4月30日、高3はNPO法人ヒカリカナタ基金理事長の竹内昌彦先生による講演「私の歩んだ道」見えないから見えたもの」を聴き、笑いあり涙ありのお話の中から今後の人生への



示唆を受けた。

**中2平和学習** 4月30日、中2は映画「知られざるヒロシマの真実と原爆の実態」のあの日、何があったのか」と「HIPPY 日々のハーモニー 広島からのメッセージ」を鑑賞した。また6月17日には「広島平和研修事前学習学生発表会」として、総合学習の時間に調べたことなどをまとめたグループ発表を行った。7月に広島市で行われる「金光教広島平和集会」への参加に向けて、広島への理解と平和への思いを深めた。

**中3性教育** 5月10日と6月7日に、男女交際や性感染症・避妊について学習した。

**教育相談保護者の会** 5月14日、スクールカウンセラーの安原こずえ先生を講師に迎えてお話をアドバイスをいただきながら、保護者・教職員との交流が行われた。

**教育実習** 5月23日から6月11日までの期間、卒業生など学園にゆかりのある7名が2週間ないし3週間の実習を行った。

**中2性教育** 中2は6月9日、かみむらウイメンズクリニックの上村茂仁先生の講演「自分の人生を自分で判断するための性教育」を保護者と共に聴いた。ま

た5月27日と6月24日に「思春期性教育DVD「ホンネで話そう生と性」中学生編」を視聴、感想文を書くなどして、思春期の性について学んだ。

**高校生徒会総会** 5月27日、オンライン形式で開催された。生徒会執行部・事務局や各種委員会の基本方針、令和4年度予算などが承認された。

**芸術鑑賞会** 6月1日、東京演劇集団風による「Touche〜孤独から愛へ」がほつま体育館で上演された。高校生が午前に、中学生が午後鑑賞し、3年ぶりの芸術鑑賞を楽しんだ。

**塾対象学校説明会** 6月1日、塾の先生を対象に学校説明会を開催した。金光学園の学習や行事、部活動などについて説明した。午前中には授業公開も行った。

**中学夏季球技大会** 6月2日、夏季球技大会が行われた。バスケットボール、ドッチボール、ソフトボール、テニスボール、フットサル、フットベースボールに分かれ、熱闘した。

**耳鼻科検診** 6月9日に中1、10日に高1を対象に実施した。

**眼科検診** 6月9日に中1と中3、10日に高1と高3を対象に実施した。

**中学生徒会総会** 6月10日、オンライン形式で開催された。生徒会や各常任委員会の基本方針、令和4年度予算などが承認された。

**高2修学旅行** 6月13日〜16日、北海道と沖縄の2コースに分かれて実施した。両コースとも雄大な自然、文化・歴史にふれ、見聞を広めた。(紀行文は次号に掲載)

**高3読書会** 6月17日、各人が希望した本ごとにグループに分かれ、お互いの意見を交換した。

**中3進路学習** 6月17日、進路課長の宰相裕一教諭から進路についての話を聞いた。

**中2総合学習「広島平和研修事前学習」学年発表会** 6月17日、各クラスの発表会で選出された6グループが、事前学習のスライドプレゼンを行った。

**中3総合学習「地域の魅力を発信」学年発表会** 6月24日、各クラスの発表会で選出された12名の代表者が、地元の魅力のスライドでプレゼンした。玉島商工会議所会頭の守永一彦氏(高26回)に講評をいただいた。

**一般対象学校説明会** 6月25日、金光学園の受験希望者と保護者を対象とした

学校説明会を開催した。午前中には全年の授業公開も行った。

**高2理系探究中間発表会** 6月29日、

高2の総合進学習理系クラス全員と特別進学習系クラス探究Ⅱ選択者が中間発表会を行った。各グループは中間発表を行い、オンラインもしくは対面で助言者から指導、助言をいただいた。

**高2性教育** 7月8日、助産師の内尾京子先生(公設国際貢献大学校)の「責任ある性」と題した講演を聴いた。

**高1夢ナビライブ参加** 7月9日、高1は「夢ナビライブ」にオンラインで参加した。大学の先生の講義を受けたり、各大学の説明を聞いたりして、大学進学・進路選択に対する意識を高めた。

**中2広島平和研修** 7月16日、中2は広島市で開催された「第77回金光教広島平和集会」に参加した。

**映画「とんび」鑑賞会** 7月23日、金光教本部祭場で全年が「とんび」(監督 瀬々敬久、主演 阿部寛)を鑑賞した。ロケ地として金光町はじめ玉島や笠岡が登場した。なかでも金光教本部前は「みゆき通り商店街」にしっかりとわれ、物語の中心の舞台となっていた。



**1日体験入学パート1** 7月24日、オープンスクールを開催した。今年度より午前・午後の2部制とし、午前は小学5年生・6年生と保護者の方、午後は中学生と保護者の方を対象に、授業体験、部活動体験、説明会などを行った。

**1学期終業式** 7月27日、1学期終業式が行われた。

**お慶び** 久繁正人先生には4月23日に次女がご誕生、職員の楠葉尚子氏には6月7日に長男がご誕生、お慶び申し上げます。

**お悔やみ** 旧職員の藤井義和氏には4月6日にご逝去、旧職員の中桐真彦氏には4月13日にご逝去、石田亜矢子先生の御祖母には4月14日にご逝去、城戸勇人先生の御祖父には6月21日にご逝去、謹んでお悔やみ申し上げます。

# 教室の窓から

2020年、映画の完成報告イベントでの女優芦田愛菜さんの言葉は世間を驚かせました。私自身もその言葉によって考えさせられた一人です。

―以下、一部引用―

「裏切られたとか期待していたとか言うけど、その人が裏切ったわけではなく、その人の見えなかった部分が見えただけ。見えなかった部分が見えたときに、それもその人なんだと受け止められることができる、揺るがない自分があることが信じていることだと思います。」

私はよく「この人はこういうタイプの人だな」とか、「この人は以前会ったあのひとと似たタイプの人だな」など、自分

の目線・自分なりの分析で、相手のことを知ろうとしてしまいます。しかし、長く付き合っていくうちに自分の分析とは違う一面を見ると、「こんなこと言う人だったのか」とショックを受けたり、逆に「こんないい一面があるんだ」と好印象を持つたりしていました。そんなとき、芦田愛菜さんのこの言葉が私にとっても響いたのです。私は相手のことを、自分が見たいように見ていたんだと反省しました。

十人十色、みんな違ってみんないい、とはよく言いますが、芦田愛菜さんの言葉を聞いてからは「一人十色」を大事にしたいと感じています。枠にとらわれず、一人の生徒のいろんな顔を知ることが今は楽しいです。そんな一人ひとりの生徒のいろんな顔に寄り添えるような日々を過ごしていきたいと思っています。

## 編集後記

映画が好き。映画館の暗闇が好き。光と影が構成するウィーンの街、桜と菜の花が彩る小豆島の自然。厳格な老人が心の奥にある孤独に気付く、特攻隊の青年が故郷に残す母を思い遣る……。スクリーンに映される情景や感情がわたしの心に触れる。暗闇に見守られ、心が解かれていく。心が自由になる。「わたし」や「わたしたち」とはちがう生活、感情、価値観を知り、この世界の大きさや多様さを受け入れることの豊かさに近づく。

演劇、音楽、小説、美術館、博物館、寄席、旅、等々。心を自由にしてくれるものはさまざまある。6月、本校で3年ぶりとなる芸術鑑賞が開催された。生徒たちが心で受け取ったもの、それが種となり、未来へ育ってくれるというふうにうれしいと思う。

令和4年7月19日印刷  
7月25日発行

編集者

金光学園やつなみ保護者会  
やつなみ編集部

印刷所

倉敷市船穂町船穂二〇九五一―一  
玉島活版所

発行所

浅口市金光町占見新田一三五〇  
金光学園内  
金光学園やつなみ保護者会

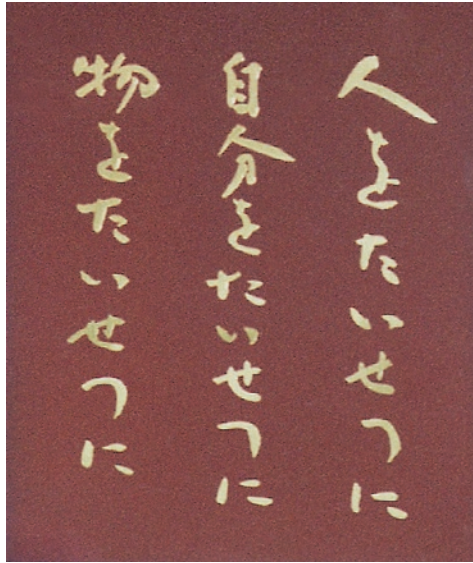
## 中・新入生歓迎会



## 高3 一日旅行







◎ほつま = 秀真

非常に優れ整い備わっていることの意。

「日本という国」の古異名の一つ。

創立後、生徒会や冊子の名に使用。

ほつま体育館、ほつま祭などで使われる。

◎やつなみ = 八波

どこまでもひろがり栄えゆく願いをこめる。

金光教・学園・中学・高校の徽章のふちどり。

P T A機関誌創刊当時、会員から公募してつけた。



homepage



facebook



Instagram

人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに

<http://www.konkougakuen.net>

E-mail [info@konkougakuen.net](mailto:info@konkougakuen.net)